

神道川排水区 神道川雨水幹線管渠工事

## 数 量 計 算 書

松阪市 本町 地内

# 数量総括表

数 量 総 括 表						
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘要
雨水管渠施設工						
	土工					
		土工		式	1	
	構造物撤去工					
		床版撤去工		式	1	
		ブロック積撤去工		式	1	
		観音橋撤去工		式	1	
		乗入床版撤去工		式	1	
		支障物件撤去復旧工		式	1	
	土留工					
		布掘工		式	1	
		鋼矢板土留工		式	1	
		親杭横矢板土留工		式	1	
		薬液注入工		式	1	
	地盤改良工					
		深層混合処理工		式	1	
	排水構造物工					
		函渠工		式	1	
		流入水路工		式	1	
	附帯構造物工					
		既設擁壁打増し工		式	1	
		重力式擁壁工		式	1	
		側溝工		式	1	
		縁石工		式	1	
	舗装復旧工					
		道路土工		式	1	
		路盤工		式	1	
		舗装復旧工		式	1	
	仮設工					
		水替工		式	1	
		仮設歩道工		式	1	
		すりつけ工		式	1	

±

工



土 工 計 算 書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
砕石埋戻し (RC-40)	横断面計算書①より	= 310.10	m3	310.1
掘削	横断面計算書②より	= 533.70	m3	533.7
床掘	横断面計算書③より	= 69.80	m3	69.8
基面整正	横断面計算書④より	= 250.20	m2	250.2
発生土運搬 (現場～仮置場)	流用分+側溝工流用分 201.60+10.00	= 211.60	m3	211.6
コンクリート埋戻し (18-8-25BB)	横断面計算書⑤より	= 33.60	m3	33.6
積込み (仮置場内)	流用分 201.60	= 201.60	m3	201.6
流用土運搬 (仮置場～現場)	流用分 201.60	= 201.60	m3	201.6
流用土埋戻し (現場内流用)	横断面計算書⑥+横断面計算書⑦ 64.00+137.60	= 201.60	m3	201.6

# 横断面計算書 ①

埋戻し(1)(深層混合施工用)

測点	距離	面積	平均面積	立積	摘要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		4.12			(AIP.5)
	3.085		4.12	12.7	
ANo.4		4.11			
	14.951		4.08	61.0	
AIP.6		4.05			
	5.049		4.03	20.3	
ANo.5		4.00			
	7.234		3.91	28.3	
AIP.7		3.82			
	1.266		5.44	6.9	
ANo.5+8.5		7.05			(No.5+10.6)
	4.200		6.99	29.4	
ANo.5+12.7		6.92			
	1.900		6.79	12.9	
ANo.5+14.6		6.66			(No.5+14.9)
	1.100		6.66	7.3	
ANo.5+15.7		6.66			(No.5+14.9)
	0.117		5.43	0.6	
AIP.8		4.19			(AIP.9)
	3.175		4.19	13.3	
AIP.9		4.19			
	1.008		4.13	4.2	
ANo.6		4.07			
	13.308		4.20	55.9	
AIP.10		4.33			
	6.692		4.34	29.0	
ANo.7		4.35			
	7.264		3.90	28.3	
ANo.7+7.264		3.44			(AIP.11)
合計				310.1	

横断面計算書 ②					
掘削（水路施工部）					
測点	距離	面積	平均面積	立積	摘要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		7.42			(AIP.5)
	3.085		7.45	23.0	
ANo.4		7.47			
	14.951		7.53	112.6	
AIP.6		7.58			
	5.049		7.61	38.4	
ANo.5		7.64			
	7.234		7.70	55.7	
AIP.7		7.76			
	1.266		8.09	10.2	
ANo.5+8.5		8.42			(No.5+10.6)
	4.200		8.30	34.9	
ANo.5+12.7		8.17			
	1.900		8.00	15.2	
ANo.5+14.6		7.83			(No.5+14.9)
	1.100		7.83	8.6	
ANo.5+15.7		7.83			(No.5+14.9)
	0.117		8.68	1.0	
AIP.8		9.53			(AIP.9)
	3.175		9.53	30.3	
AIP.9		9.53			
	1.008		9.55	9.6	
ANo.6		9.56			
	13.308		9.59	127.6	
AIP.10		9.62			
	6.692		9.73	65.1	
ANo.7		9.83			
	7.264		9.81	71.3	
ANo.7+7.264		9.78			(AIP.11)
				603.5	
床掘分控除		603.50 - 69.80 =		533.7	



# 横断面計算書③

## 床掘（水路基礎部）

測点	距離	面積	平均面積	立積	摘要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		1.04			(AIP.5)
	3.085		1.04	3.2	
ANo.4		1.04			
	14.951		1.04	15.5	
AIP.6		1.04			
	5.049		1.05	5.3	
ANo.5		1.06			
	7.234		1.07	7.7	
AIP.7		1.08			
	1.266		0.83	1.1	
ANo.5+8.5		0.57			(No.5+10.6)
	4.200		0.57	2.4	
ANo.5+12.7		0.57			
	1.900		0.57	1.1	
ANo.5+14.6		0.57			(No.5+14.9)
	1.100		0.57	0.6	
ANo.5+15.7		0.57			(No.5+14.9)
	0.117		0.57	0.1	
AIP.8		0.57			(AIP.9)
	3.175		0.57	1.8	
AIP.9		0.57			
	1.008		0.57	0.6	
ANo.6		0.57			
	13.308		0.93	12.4	
AIP.10		1.28			
	6.692		1.29	8.6	
ANo.7		1.30			
	7.264		1.30	9.4	
ANo.7+7.264		1.30			(AIP.11)
合計				69.8	

# 横断面計算書④

## 基面整正（水路基礎部）

測 点	距 離	幅	平均幅	面 積	摘 要
	(m)	(m)	(m)	(m2)	
ANo.3+16.915		3.46			(AIP.5)
	3.085		3.46	10.7	
ANo.4		3.46			
	14.951		3.46	51.7	
AIP.6		3.46			
	5.049		3.49	17.6	
ANo.5		3.52			
	7.234		3.57	25.8	
AIP.7		3.61			
	1.266		3.24	4.1	
ANo.5+8.5		2.86			(No.5+10.6)
	4.200		2.86	12.0	
ANo.5+12.7		2.86			
	1.900		2.86	5.4	
ANo.5+14.6		2.86			(No.5+14.9)
	1.100		2.86	3.1	
ANo.5+15.7		2.86			(No.5+14.9)
	0.117		2.86	0.3	
AIP.8		2.86			(AIP.9)
	3.175		2.86	9.1	
AIP.9		2.86			
	1.008		2.86	2.9	
ANo.6		2.86			
	13.308		3.56	47.4	
AIP.10		4.26			
	6.692		4.29	28.7	
ANo.7		4.32			
	7.264		4.32	31.4	
ANo.7+7.264		4.32			(AIP.11)
合 計				250.2	

# 横断面計算書⑤

## C o 埋戻し ( 鋼 矢 板 - 暗 渠 )

測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		0.67			(AIP.5)
	3.085		0.68	2.1	
ANo.4		0.68			
	14.951		0.69	10.3	
AIP.6		0.70			
	5.049		0.74	3.7	
ANo.5		0.78			
	7.234		0.85	6.1	
AIP.7		0.91			
	1.266		1.27	1.6	
ANo.5+8.5		1.63			(No.5+10.6)
	4.200		1.50	6.3	
ANo.5+12.7		1.37			
	1.900		1.21	2.3	
ANo.5+14.6		1.04			(No.5+14.9)
	1.100		1.04	1.1	
ANo.5+15.7		1.04			
	0.117		1.04	0.1	
AIP.8		1.04			(No.5+14.9)
AIP.9					
ANo.6					
AIP.10					
ANo.7					
ANo.7+7.264					
合 計				33.6	

# 横断面計算書 ⑥

## 埋戻し(2)(暗渠 - 既設擁壁)

測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		0.36			(AIP.5)
	3.085		0.31	1.0	
ANo.4		0.25			
	14.951		0.41	6.1	
AIP.6		0.57			
	5.049		0.55	2.8	
ANo.5		0.53			
	7.234		0.36	2.6	
AIP.7		0.18			
	1.266		0.21	0.3	
ANo.5+8.5		0.23			(No.5+10.6)
	4.200		0.18	0.8	
ANo.5+12.7		0.12			
	1.900		0.12	0.2	
ANo.5+14.6		0.12			(No.5+14.9)
	1.100		0.12	0.1	
ANo.5+15.7		0.12			(No.5+14.9)
	0.117		1.05	0.1	
AIP.8		1.97			(AIP.9)
	3.175		1.97	6.3	
AIP.9		1.97			
	1.008		1.98	2.0	
ANo.6		1.98			
	13.308		1.66	22.1	
AIP.10		1.33			
	6.692		1.38	9.2	
ANo.7		1.42			
	7.264		1.43	10.4	
ANo.7+7.264		1.43			(AIP.11)
合 計				64.0	

横断面計算書 ⑦					
埋戻し (3)(路床部)					
測点	距離	面積	平均面積	立積	摘要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		1.27			(AIP.5)
	3.085		1.21	3.7	
ANo.4		1.14			
	14.951		1.46	21.8	
AIP.6		1.77			
	5.049		1.74	8.8	
ANo.5		1.71			
	7.234		1.43	10.3	
AIP.7		1.15			
	1.266		1.19	1.5	
ANo.5+8.5		1.23			(No.5+10.6)
	4.200		1.39	5.8	
ANo.5+12.7		1.54			
	1.900		1.54	2.9	
ANo.5+14.6		1.53			(No.5+14.9)
	1.100		1.53	1.7	
ANo.5+15.7		1.53			(No.5+14.9)
	0.117		2.20	0.3	
AIP.8		2.86			(AIP.9)
	3.175		2.86	9.1	
AIP.9		2.86			
	1.008		2.86	2.9	
ANo.6		2.85			
	13.308		2.60	34.6	
AIP.10		2.35			
	6.692		2.41	16.1	
ANo.7		2.47			
	7.264		2.49	18.1	
ANo.7+7.264		2.51			(AIP.11)
合 計				137.6	

工 去 撤 版 床

床版撤去工集計表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
構造物とりこわし工	無筋コンクリート	15	m3	
殻運搬	無筋コンクリート	15	m3	
殻処分	無筋コンクリート	15	m3	
コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機、φ150	30	孔	
コンクリート削孔工	さく岩機、φ50	30	孔	
ワイヤーソー切断	鉄筋コンクリート	21	m2	
床版撤去積込工		32	m	
殻運搬	鉄筋Co、現場～仮置場	18	m3	
構造物とりこわし工	鉄筋Co、仮置場内	18	m3	
殻運搬	鉄筋Co、仮置場～処分場	18	m3	
殻処分	鉄筋コンクリート	18	m3	
構造物とりこわし工	鉄筋コンクリート	3	m3	
殻運搬	鉄筋コンクリート	3	m3	
殻処分	鉄筋コンクリート	3	m3	

床版撤去工計算書				1/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
【床版上コンクリート部】				
構造物とりこわし (無筋Co)	厚さ(左岸・右岸) $(0.12 + 0.16) \times 1/2 = 0.14$ 延長×幅×厚さ $31.59 \times 3.35 \times 0.14 = 14.56$	m m3		14.6
殻運搬・処分 (無筋Co)	構造物とりこわしと同じ = 14.56	m3		14.6
【床版部】				
コンクリート削孔工 (吊用孔)	穿孔:コンクリート穿孔機、ピット径:150mm t=20cm $(16 - 1) \times 2 = 30$	孔		30
コンクリート削孔工 (切断用孔)	穿孔:さく岩機械、ピット径:50mm t=20cm $(16 - 1) \times 2 = 30$	孔		30
鉄筋コンクリート切断 (ワイヤーソー) (t=20cm)	縦断方向 $31.59 \times 0.20 \times 2 = 12.63$ 横断方向(16ブロック) $2.80 \times 0.20 \times (16 - 1) = 8.40$ 合計 = 21.04	m2 m2 m2		21.0
床版撤去積込工	延長 31.59 = 31.59	m		31.6
殻運搬 (鉄筋Co、 現場～仮置場)	構造物とりこわしと同じ = 17.70	m3		17.7



床 版 撤 去 工 計 算 書				2/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
構造物とりこわし (鉄筋Co、仮置場内)	延長×幅×厚さ 31.59×2.80×0.20 = 17.70	m3	17.7	
殻運搬・処分 (鉄筋Co、 仮置場～処分場)	構造物とりこわしと同じ = 17.70	m3	17.7	
【既設擁壁上部】 構造物とりこわし (鉄筋Co)	左岸側 延長×幅×厚さ 31.59×0.45×0.20 = 2.83	m3		
	右岸側 延長×幅×厚さ 31.59×0.10×0.20 = 0.63	m3		
	合計 = 3.46	m3	3.5	
殻運搬・処分 (鉄筋Co)	構造物とりこわしと同じ = 3.46	m3	3.5	

## 床 版 延 長 ・ 幅 ・ 厚 さ 拾 い 出 し 表

(ワイヤーソー切断)

①床版上部のコンクリートを撤去する。床版本体の厚さは $t=200\text{mm}$ 程度になる。

②床版をワイヤーソー切断にて16ブロックに分割しながら撤去。1ブロック2m程度とする。

③既設擁壁上部の床版の残りを撤去。

ブロック	延長	床版全体 幅員	ブロック 幅員	左岸側 既設擁壁 上部延長	右岸側 既設擁壁 上部延長	左岸側 床版上部 厚さ	右岸側 床版上部 厚さ
1	2.000	3.290	2.820	0.370	0.100	0.160	0.092
2	2.000	3.290	2.820	0.370	0.100	0.160	0.092
3	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
4	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
5	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
6	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
7	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
8	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
9	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
10	2.000	3.220	2.820	0.300	0.100	0.150	0.210
11	2.000	3.510	2.840	0.570	0.100	0.030	0.080
12	2.000	3.510	2.840	0.570	0.100	0.030	0.080
13	2.000	3.700	2.980	0.620	0.100	0.060	0.190
14	1.800	3.700	2.980	0.620	0.100	0.060	0.190
15	1.800	3.410	2.490	0.820	0.100	0.090	0.060
16	1.985	3.410	2.490	0.820	0.100	0.090	0.060
合 計	31.585						
平均		3.349	2.801	0.448	0.100	0.118	0.158

ブ ロ ッ ク 積 撤 去 工



ブ ロ ッ ク 積 撤 去 工 計 算 書			
名 称	計 算 式	単位	数 量
構造物とりこわし (無筋Co)	横断面計算書より = 47.30	m3	47.3
殻運搬 (無筋Co)	構造物とりこわしと同じ = 47.30	m3	47.3
殻処分 (無筋Co)	構造物とりこわしと同じ = 47.30	m3	47.3

横 断 面 計 算 書					
無筋コンクリート取壊し(既設ブロック積擁壁)					
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		0.76			(AIP.5)
	3.085		0.76	2.3	
ANo.4		0.76			
	14.951		0.78	11.7	
AIP.6		0.80			
	5.049		0.75	3.8	
ANo.5		0.69			
	7.234		0.65	4.7	
AIP.7		0.61			
	1.266	0.61	0.61	0.8	(AIP.7)
ANo.5+8.5		0.00			観音橋
	7.317	0.00	0.00	0.0	観音橋
AIP.8		0.75			(AIP.9)
	3.175		0.75	2.4	
AIP.9		0.75			
	1.008		0.75	0.8	
ANo.6		0.75			
	13.308		0.77	10.2	
AIP.10		0.78			
	6.692		0.78	5.2	
ANo.7		0.77			
	7.264		0.75	5.4	
ANo.7+7.264		0.73			(AIP.11)
合 計				47.3	

工 去 撤 橋 音 觀

観 音 橋 撤 去 工 集 計 表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機、φ150	4	孔	
コンクリート削孔工	さく岩機械、φ50	4	孔	
ワイヤーソー切断	鉄筋コンクリート	2	m2	
床版撤去積込工		7	m	
殻運搬	鉄筋Co、現場～仮置場	7	m3	
構造物とりこわし工	鉄筋Co、仮置場内	7	m3	
殻運搬・処分	鉄筋Co、仮置場～処分場	7	m3	
構造物とりこわし工	鉄筋コンクリート	1	m3	低騒音・低振動
殻運搬・処分	鉄筋コンクリート	1	m3	
構造物とりこわし工	無筋コンクリート	15	m3	低騒音・低振動
殻運搬・処分	無筋コンクリート	15	m3	
静的破砕剤工		16	m3	穿孔含む
足場工	単管足場	15	掛m2	

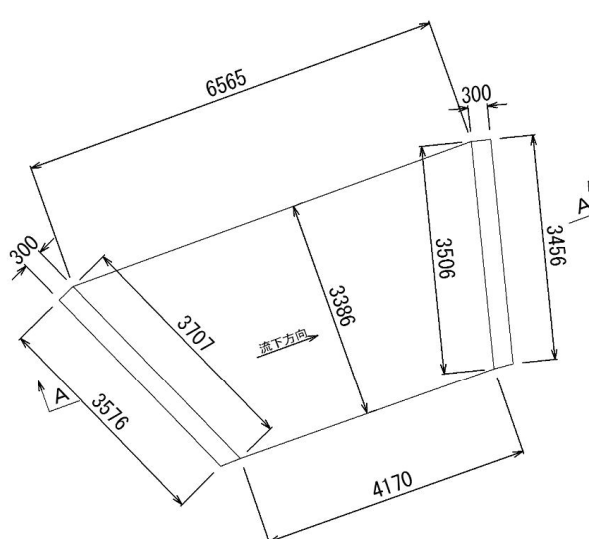



観 音 橋 撤 去 工 計 算 書					1/2
名 称	計 算 式			単位	数 量
【床版部】	ワイヤーソーにて3分割して撤去				
コンクリート削孔工 (吊用孔)	穿孔:コンクリート穿孔機、ビット径:150mm t=34cm	=	4	孔	4
コンクリート削孔工 (切断用孔)	穿孔:さく岩機械、ビット径:50mm t=34cm	=	4	孔	4
鉄筋コンクリート切断 (ワイヤーソー) (t=34cm)	横断方向 $3.39 \times 0.34 \times (3 - 1)$	=	2.30	m2	2.3
床版撤去積込工	延長 6.57	=	6.57	m	6.6
殻運搬 (鉄筋Co、 現場～仮置場)	構造物とりこわしと同じ	=	7.20	m3	7.2
構造物とりこわし (鉄筋Co、仮置場内)	床版 7.20	=	7.20	m3	7.2
殻運搬・処分 (鉄筋Co、 仮置場～処分場)	構造物とりこわしと同じ	=	7.20	m3	7.2

観 音 橋 撤 去 工 集 計 表					2/2
名 称	計 算 式			単位	数 量
【側壁部】	静的破碎剤工にて撤去				
構造物とりこわし (鉄筋Co)	左岸 + 右岸 0.90+0.50	=	1.40	m3	1.4
殻運搬・処分 (鉄筋Co)	構造物とりこわし(鉄筋Co)と同じ	=	1.40	m3	1.4
構造物とりこわし (無筋Co)	左岸 14.8	=	14.80	m3	14.8
殻運搬・処分 (無筋Co)	構造物とりこわし(無筋Co)と同じ	=	14.80	m3	14.8
静的破碎剤工	左岸 + 左岸 + 右岸 0.90+14.80+0.50	=	16.20	m3	16.2
足場工 (単管足場)	足場工計算書より	=	14.61	掛m2	14.6

# 床版取壊し工計算書

## 構造物とりこわし（鉄筋）

名称	計算式	数量
構造物とりこわし (鉄筋Co)	$1/2 \times (3.576 + 3.707) \times 0.300 \times 0.500 = 0.55$	7.2
	$1/2 \times (6.565 + 4.170) \times 3.386 \times 0.340 = 6.18$	
	$1/2 \times (3.506 + 3.456) \times 0.300 \times 0.500 = 0.52$	
	合計 = 7.25 m3	
	<div>平面図</div>  <div>A-A断面</div> 	

左 岸 橋 台 取 壊 し 工 計 算 書									
( 静 的 破 碎 剤 工 )									
名称	計算式								数量
【静的破碎剤工】	躯体：無筋コンクリート、 穿孔：ハンドハンマー、 ピット径：40mm(最深箇所)								
削孔工		本数	段数	本数	段数				
	【A-A】外、内	14	×	2	+	14	×	2	= 56 孔
	【B-B】外、中1	16	×	2	+	17	×	2	= 66 孔
	【B-B】中2、内	16	×	1	+	21	×	1	= 37 孔
								合計 =	159 孔
穿孔長		深さ(上段)	本数	深さ(下段)	本数				
	【A-A】外	1.200	×	14	+	1.000	×	14	= 30.80 m
	【A-A】内	0.850	×	14	+	1.000	×	14	= 25.90 m
	【B-B】外	1.200	×	16	+	1.000	×	16	= 35.20 m
	【B-B】中1	0.850	×	17	+	1.000	×	17	= 31.45 m
	【B-B】中2					1.000	×	16	= 16.00 m
	【B-B】内					0.700	×	21	= 14.70 m
								合計 =	154.05 m
静的破碎剤使用量		延長	kg/m	ロスを含む					
		154.05	×	2.3	×	1.1		=	390.0 kg
構造物とりこわし (鉄筋Co) (パラペット部) 【静的破碎剤使用】	【A-A】	幅	高さ	延長					
		0.30	×	0.35	×	3.52		=	0.37
	【B-B】								
		1/2×( 0.400	+	0.300 )	×	0.330	×	4.20	= 0.49
								合計 =	0.86 m3
構造物とりこわし (無筋Co) (躯体部) 【静的破碎剤使用】	【A-A】								
		1/2×( 1.008	+	0.654 )	×	1.850	×	3.520	= 5.41
	【B-B】								
		1/2×( 1.499	+	0.628 )	×	1.870	×	4.200	= 8.35
	【B-B】								
		1/2×( 0.251	+	0.238 )	×	0.750	×	5.392	= 0.99
								合計 =	14.75 m3
									14.8

右 岸 橋 台 取 壊 し 工 計 算 書			
( 静 的 破 碎 剤 工 )			
名称	計算式		数量
【静的破碎剤工】	躯体:有筋コンクリート、 穿孔:ハンドハンマー、 ピット径:40mm(最深箇所)		
削孔工	【A-A】	18 = 18 孔	
穿孔長	【A-A】	$\begin{matrix} \text{深さ} & \text{本数} \\ 0.330 & \times & 18 & = & 5.94 & \text{m} \end{matrix}$	
静的破碎剤使用量	$\begin{matrix} \text{延長} & \text{kg/m} & \text{ロスを含む} \\ 5.94 & \times & 2.3 & \times & 1.1 & = & 15.0 & \text{kg} \end{matrix}$		
構造物とりこわし (鉄筋Co) (パラペット部) 【静的破碎剤使用】	【A-A】	$\begin{matrix} \text{幅} & \text{高さ} & \text{延長} \\ 0.30 & \times & 0.33 & \times & 4.75 & = & 0.47 & \text{m}^3 \end{matrix}$	0.5

足 場 工 計 算 書		
観 音 橋 左 岸 橋 台 取 壊 し 時		
名称	計算式	数量
足場工 (単管足場)	<div>【A-A】 <math>1.88 \times 2.33 = 4.39</math></div> <div>【B-B】 <math>1.90 \times 5.39 = 10.23</math></div> <div>合計 = 14.61 掛m2</div>	14.6

工 去 撤 版 床 入 乘

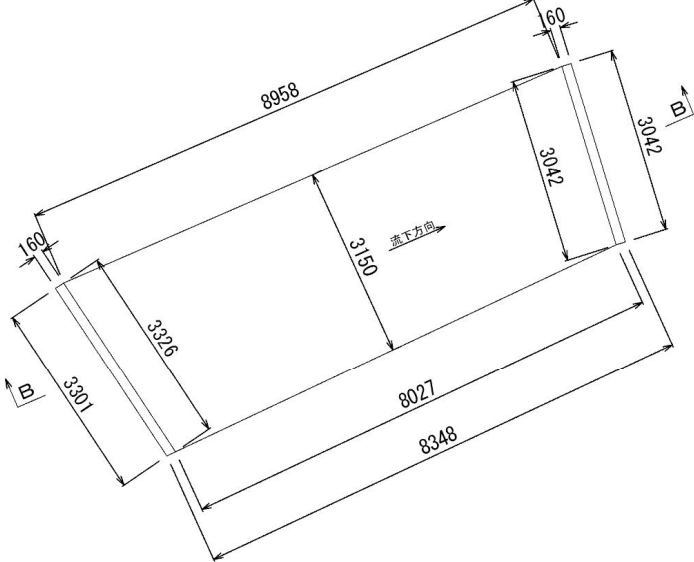
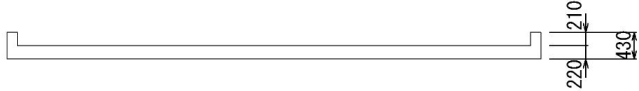




乗入床版撤去工集計表				
名 称	計 算 式	単位	数 量	
【ANo.6+7.2】	ワイヤーソーにて5分割して撤去			
コンクリート削孔工 (吊用孔)	穿孔:コンクリート穿孔機、ビット径:150mm t=22cm = 8	孔	8	
コンクリート削孔工 (切断用孔)	穿孔:さく岩機械、ビット径:50mm t=22cm = 8	孔	8	
鉄筋コンクリート切断 (ワイヤーソー) (t=22cm)	横断方向 $3.15 \times 0.22 \times (5 - 1)$ = 2.77	m2	2.8	
床版撤去積込工	延長 8.96 = 8.96	m	9.0	
殻運搬 (鉄筋Co、 現場～仮置場)	構造物とりこわしと同じ = 6.30	m3	6.3	
構造物とりこわし (鉄筋Co、仮置場内)	床版 6.30 = 6.30	m3	6.3	
殻運搬・処分 (鉄筋Co、 仮置場～処分場)	構造物とりこわしと同じ = 6.30	m3	6.3	

# 乗入床版取壊し工計算書

ANo.6+7.2

名称	計算式	数量
構造物とりこわし (鉄筋Co)	$1/2 \times (3.301 + 3.326) \times 0.160 \times 0.430 = 0.23$	
	$1/2 \times (8.958 + 8.027) \times 3.150 \times 0.220 = 5.89$	
	$1/2 \times (3.042 + 3.042) \times 0.160 \times 0.430 = 0.21$	
	合計 = 6.32 m3	6.3
	<p>平面図</p>  <p>B-B断面</p> 	

工 旧 復 去 撤 件 物 障 支



支障物件撤去復旧工計算書				
名 称	計 算 式	単位	数 量	
標識板撤去 (規制・指示)	道路標識(1)	= 1.00	基	
	道路標識(2)	= 1.00	基	
	合計 = 2.00	基	2.0	
標識柱・基礎撤去 (路側式・単柱式)	道路標識(1)	= 1.00	基	
	道路標識(2)	= 1.00	基	
	合計 = 2.00	基	2.0	
標識柱・基礎設置 (路側式・単柱式)	道路標識(1)	= 1.00	基	
	道路標識(2)	= 1.00	基	
	合計 = 2.00	基	2.0	
標識板設置 (規制・指示)	道路標識(1)	= 1.00	基	
	道路標識(2)	= 1.00	基	
	合計 = 2.00	基	2.0	
道路照明灯撤去	街灯	= 1.00	基	1.0
道路照明灯建柱	街灯	= 1.00	基	1.0
照明器具移設	街灯	= 1.00	台	1.0

工 掘 布

布 掘 工 集 計 表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
舗装版切断	As、t≤15cm	68	m	
舗装版破碎	As、t≤15cm	100	m2	
殻運搬	As	5	m3	
殻処分	As	5	m3	
掘削	土砂	70	m3	
アルミ矢板建込引抜工	BH 0.45m3	72	m	
発生土運搬	現場～処理場	70	m3	
碎石埋戻し	RC-40	70	m3	
表層工	t=5cm、再密(13)	34	m2	

布 堀 工 計 算 書				
名 称	計 算 式	単位	数 量	
	舗装撤去工平面図より			
舗装版切断 (t≤15cm)	布堀 (t=5cm) 68.0 = 68.00	m	68.0	
舗装版破碎 (t≤15cm)	布堀 (t=5cm) 99.9 = 99.90	m2	99.9	
殻運搬・処分 (As)	(厚さ) (面積) 布堀 (t=5cm) 0.05×99.9 = 5.00	m3	5.0	
掘削 (土砂)	布堀(掘削・埋戻し)計算書より = 69.80	m3	69.8	
アルミ矢板 建込引抜工 (BH 0.45m3)	布堀(掘削・埋戻し)計算書より = 71.80	m	71.8	
発生土運搬 (現場～処理場)	掘削と同じ = 69.80	m3	69.8	
碎石埋戻し (RC-40)	布堀(掘削・埋戻し)計算書より = 71.50	m3	71.5	
表層工 (t=5cm)	(幅) (延長) 布堀 (仮舗装) 0.5×(35.9+31.4) = 33.67	m2	33.7	



# 布堀（掘削・埋戻し）計算書

## 布堀（鋼矢板施工部）

名称	計算式	数量
掘削 (土砂)	<p>ANo.3+16.915～AIP.8(NTT管近傍部)</p> <p>深さ As厚さ 幅 延長</p> $(1.60-0.05) \times 1.00 \times (38.9-3.0) = 55.65$ <p>AIP.8～AIP.10+3.456</p> <p>深さ As厚さ 幅 延長</p> $(0.50-0.05) \times 1.00 \times 31.4 = 14.15$ <p>合計 = 69.80 m3</p>	69.8
アルミ矢板 建込引抜工 (BH 0.45m3)	<p>ANo.3+16.915～AIP.8(NTT管近傍部)</p> <p>延長 両面</p> $35.90 \times 2.00 = 71.80 \text{ m}$	71.8
碎石埋戻し (RC-40)	<p>ANo.3+16.915～AIP.8(NTT管近傍部)</p> <p>深さ As厚さ 幅 延長</p> $(1.60-0.05) \times 0.50 \times 35.9 = 27.82$ <p>深さ 幅 延長</p> $1.60 \times 0.50 \times 35.9 = 28.72$ <p>AIP.8～AIP.10+3.456</p> <p>深さ As厚さ 幅 延長</p> $(0.50-0.05) \times 0.50 \times 31.4 = 7.08$ <p>深さ 幅 延長</p> $0.50 \times 0.50 \times 31.4 = 7.86$ <p>合計 = 71.48 m3</p>	71.5

工 留 土 板 矢 鋼

鋼 矢 板 土 留 工 集 計 表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
鋼矢板	残置分	81	t	Ⅱ型
鋼矢板	撤去分	7	t	Ⅱ型
鋼矢板	残置分	12	t	Ⅲ型
鋼矢板	撤去分	1	t	Ⅲ型
鋼矢板打込工	油圧バイブロ、Ⅱ型	19	枚	Nmax≤50
鋼矢板打込工	油圧バイブロ、Ⅲ型	19	枚	Nmax≤50
鋼矢板圧入工	油圧圧入、Ⅱ型	273	枚	Nmax≤25
鋼矢板圧入工	油圧圧入、Ⅲ型	11	枚	Nmax≤25
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体		1	回	
ガス切断工	撤去部切断	322	箇所	
切梁・腹起し設置撤去工		12	t	
山留材質料	腹起し	9	t	
山留材質料	切梁	3	t	

鋼 矢 板 土 留 工 計 算 書				1/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
鋼矢板【Ⅱ型】 (残置分)	油圧バイプロ工計算書+油圧圧入工計算書 1.1+1.1+2.0+1.2 +14.8+15.6+21.6+23.9 = 81.3	t	81.3	
鋼矢板【Ⅱ型】 (撤去分)	油圧バイプロ工計算書+油圧圧入工計算書 0.1+0.1+0.2+0.1 +1.3+1.4+1.8+2.0 = 7.0	t	7.0	
鋼矢板【Ⅲ型】 (残置分)	油圧バイプロ工計算書+油圧圧入工計算書 3.5+3.9+4.3 = 11.7	t	11.7	
鋼矢板【Ⅲ型】 (撤去分)	油圧バイプロ工計算書+油圧圧入工計算書 0.3+0.3+0.3 = 0.9	t	0.9	
鋼矢板打込工 (油圧バイプロ) (Nmax≤50)	油圧バイプロ工計算書より 鋼矢板Ⅱ型、打込長≤6m 4+4+7+4 = 19	枚	19	
	鋼矢板Ⅲ型、打込長≤6m 9+10 = 19	枚	19	
鋼矢板圧入工 (油圧圧入) (Nmax≤25)	油圧圧入工計算書より 鋼矢板Ⅱ型、圧入長≤6m 56+59+75+83 = 273	枚	273	
	鋼矢板Ⅲ型、圧入長≤6m 11 = 11	枚	11	
油圧式杭圧入 引抜機据付・解体	Nmax≤25(Ⅱ型・Ⅲ型は同じ) 工事着手時 = 1	回	1	

鋼 矢 板 土 留 工 計 算 書				2/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
ガス切断工 (撤去部切断)	油圧パイプロ工計算書+油圧圧入工計算書 4+4+9+10+7+4 +56+59+11+75+83 = 322	箇所	322	
切梁・腹起し 設置撤去工	切梁・腹起し設置・撤去工計算書より = 11.6	t	11.6	
山留材賃料	腹起し重量 = 9.1	t	9.1	
	切梁重量 = 2.5	t	2.5	

油 圧 バ イ ブ ロ 工 計 算 書				1/3					
油 圧 バ イ ブ ロ 施 工 ( 初 期 打 設 部 )									
名称		計算式		数量					
1) □2600×1400 (左岸)									
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.0 m    うち、 鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量	単位重量(t/m)	鋼矢板残置長	枚数						
	0.048	×	5.5	×	4	=	1.06	t	1.1
撤去部重量	単位重量(t/m)	鋼矢板撤去長	枚数						
	0.048	×	0.5	×	4	=	0.10	t	0.1
施工方法 : 【油圧式可変超高周波型バイブロハンマ】									
鋼矢板打込工 (Nmax≦50)	初期打設								
			4	=	4	枚	4		
打込長 (h≦6m)	鋼矢板長				布堀深				
	6.0	-	1.60	=	4.40	m			
ガス切断工 (撤去部切断)	枚数								
			4	=	4	箇所	4		
2) □2600×1400 (右岸)									
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.0 m    うち、 鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量	単位重量(t/m)	鋼矢板残置長	枚数						
	0.048	×	5.5	×	4	=	1.06	t	1.1
撤去部重量	単位重量(t/m)	鋼矢板撤去長	枚数						
	0.048	×	0.5	×	4	=	0.10	t	0.1
施工方法 : 【油圧式可変超高周波型バイブロハンマ】									
鋼矢板打込工 (Nmax≦50)	初期打設								
			4	=	4	枚	4		
打込長 (h≦6m)	鋼矢板長				突出長平均				
	6.0	-	1/2	×	( 2.21 + 2.16 )	=	3.81	m	
ガス切断工 (撤去部切断)	枚数								
			4	=	4	箇所	4		

油 圧 バ イ ブ ロ 工 計 算 書					2/3
油 圧 バ イ ブ ロ 施 工 ( 初 期 打 設 部 )					
名称		計算式			数量
3) □2300×1500 (左岸)					
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅲ型】 鋼矢板長 = 7.0 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m				
残置部重量	単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.060 × 6.5 × 9 = 3.51 t				3.5
撤去部重量	単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.060 × 0.5 × 9 = 0.27 t				0.3
鋼矢板打込工 (Nmax≦50)	施工方法 : 【油圧式可変超高周波型パイプロハンマ】 左岸 9 = 9 枚				9
打込長 (h≦6m)	鋼矢板長    布堀深 7.0 - 1.60 = 5.40 m				
ガス切断工 (撤去部切断)	枚数 9 = 9 箇所				9
4) □2300×1500 (右岸)					
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅲ型】 鋼矢板長 = 7.0 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m				
残置部重量	単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.060 × 6.5 × 10 = 3.90 t				3.9
撤去部重量	単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.060 × 0.5 × 10 = 0.30 t				0.3
鋼矢板打込工 (Nmax≦50)	施工方法 : 【油圧式可変超高周波型パイプロハンマ】 初期打設 1 + 7 + 2 = 10 枚				10
打込長 (h≦6m)	鋼矢板長    突出長平均 7.0 - 1/2 × ( 2.30 + 2.33 ) = 4.69 m				
ガス切断工 (撤去部切断)	枚数 10 = 10 箇所				10

油 圧 バ イ ブ ロ 工 計 算 書			3/3
油 圧 バ イ ブ ロ 施 工 ( 初 期 打 設 部 )			
名称	計算式	数量	
5) □2600×1500 (左岸)			
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.5 m うち、鋼矢板撤去長 = 0.5 m		
残置部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板残置長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 6.0 & \times & 7 = 2.02 \text{ t} \end{array}$	2.0	
撤去部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板撤去長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 0.5 & \times & 7 = 0.17 \text{ t} \end{array}$	0.2	
鋼矢板打込工 (Nmax≤50)	施工方法 : 【油圧式可変超高周波型パイプロハンマ】 初期打設 $7 = 7 \text{ 枚}$	7	
打込長 (h≤6m)	$\begin{array}{ccccc} \text{鋼矢板長} & - & \text{布堀深} & & \\ 6.5 & - & 0.50 & = & 6.00 \text{ m} \end{array}$		
ガス切断工 (撤去部切断)	$\begin{array}{ccccc} & & \text{枚数} & & \\ & & 7 & = & 7 \text{ 箇所} \end{array}$	7	
6) □2600×1500 (右岸)			
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.5 m うち、鋼矢板撤去長 = 0.5 m		
残置部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板残置長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 6.0 & \times & 4 = 1.15 \text{ t} \end{array}$	1.2	
撤去部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板撤去長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 0.5 & \times & 4 = 0.10 \text{ t} \end{array}$	0.1	
鋼矢板打込工 (Nmax≤50)	施工方法 : 【油圧式可変超高周波型パイプロハンマ】 初期打設 $4 = 4 \text{ 枚}$	4	
打込長 (h≤6m)	$\begin{array}{ccccc} \text{鋼矢板長} & - & \text{突出長平均} & & \\ 6.5 & - & 1/2 \times ( 2.28 + 2.55 ) & = & 4.08 \text{ m} \end{array}$		
ガス切断工 (撤去部切断)	$\begin{array}{ccccc} & & \text{枚数} & & \\ & & 4 & = & 4 \text{ 箇所} \end{array}$	4	



油 圧 圧 入 工 計 算 書										1/3
油 圧 圧 入 施 工 ( 連 続 打 設 部 )										
名称		計算式								数量
1) □2600×1400 (左岸)										
仮設材 (中古品)		仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.0 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.048 × 5.5 × 56 = 14.78 t								14.8
撤去部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.048 × 0.5 × 56 = 1.34 t								1.3
施工方法 : 【油圧式杭圧入引抜機】										
鋼矢板圧入工 (Nmax≦25)		左岸    初期打設(ﾊﾞｲﾌﾟﾙ) 60 - 4 = 56 枚								56
圧入長 (h≦6m)		鋼矢板長    布堀深 6.0 - 1.60 = 4.40 m								
ガス切断工 (撤去部切断)		枚数 56 = 56 箇所								56
2) □2600×1400 (右岸)										
仮設材 (中古品)		仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.0 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.048 × 5.5 × 59 = 15.58 t								15.6
撤去部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.048 × 0.5 × 59 = 1.42 t								1.4
施工方法 : 【油圧式杭圧入引抜機】										
鋼矢板圧入工 (Nmax≦25)		右岸    初期打設(ﾊﾞｲﾌﾟﾙ) 63 - 4 = 59 枚								59
圧入長 (h≦6m)		鋼矢板長    突出長平均 6.0 - 1/2 × ( 2.21 + 2.16 ) = 3.81 m								
ガス切断工 (撤去部切断)		枚数 59 = 59 箇所								59

油 圧 圧 入 工 計 算 書										2/3
油 圧 圧 入 施 工 ( 連 続 打 設 部 )										
名称		計算式								数量
3) □2300×1500 (右岸)										
仮設材 (中古品)		仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅲ型】 鋼矢板長 = 7.0 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.060 × 6.5 × 11 = 4.29 t								4.3
撤去部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.060 × 0.5 × 11 = 0.33 t								0.3
施工方法 : 【油圧式杭圧入引抜機】										
鋼矢板圧入工 (Nmax≦25)		右岸    初期打設(ﾊﾞｲﾌﾟﾙ) 21 - 10 = 11 枚								11
圧入長 (h≦6m)		鋼矢板長    突出長平均 7.0 - 1/2 × ( 2.30 + 2.33 ) = 4.69 m								
ガス切断工 (撤去部切断)		枚数 11 = 11 箇所								11
4) □2600×1500 (左岸)										
仮設材 (中古品)		仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.5 m    うち、    鋼矢板撤去長 = 0.5 m								
残置部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板残置長    枚数 0.048 × 6.0 × 75 = 21.60 t								21.6
撤去部重量		単位重量(t/m)    鋼矢板撤去長    枚数 0.048 × 0.5 × 75 = 1.80 t								1.8
施工方法 : 【油圧式杭圧入引抜機】										
鋼矢板圧入工 (Nmax≦25)		左岸    初期打設(ﾊﾞｲﾌﾟﾙ) 82 - 7 = 75 枚								75
圧入長 (h≦6m)		鋼矢板長    布堀深 6.5 - 0.50 = 6.00 m								
ガス切断工 (撤去部切断)		枚数 75 = 75 箇所								75

油 圧 圧 入 工 計 算 書			3/3
油 圧 圧 入 施 工 ( 連 続 打 設 部 )			
名称	計算式	数量	
5) □2600×1500 (右岸)			
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【鋼矢板Ⅱ型】 鋼矢板長 = 6.5 m    うち、鋼矢板撤去長 = 0.5 m		
残置部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板残置長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 6.0 & \times & 83 = 23.90 \text{ t} \end{array}$	23.9	
撤去部重量	$\begin{array}{ccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{鋼矢板撤去長} & \text{枚数} & & \\ 0.048 & \times & 0.5 & \times & 83 = 1.99 \text{ t} \end{array}$	2.0	
鋼矢板圧入工 (Nmax≦25)	施工方法 : 【油圧式杭圧入引抜機】 $\begin{array}{ccccc} & \text{右岸} & & \text{初期打設(ハ イ プ)} & \\ & 87 & - & 4 & = 83 \text{ 枚} \end{array}$	83	
圧入長 (h≦6m)	$\begin{array}{ccccc} \text{鋼矢板長} & & \text{突出長平均} & & \\ 6.5 & - & 1/2 & \times ( & 2.28 + 2.55 ) = 4.08 \text{ m} \end{array}$		
ガス切断工 (撤去部切断)	$\begin{array}{ccccc} & & \text{枚数} & & \\ & & 83 & = & 83 \text{ 箇所} \end{array}$	83	

切 梁 ・ 腹 起 し 設 置 ・ 撤 去 工 計 算 書		
均 し コ ン ク リ ー ト 打 設 ま で		
名称	計算式	数量
山留材重量	<p>【腹起し】</p> <p>仮設材種類 : H鋼250×250×9×14孔</p> <p>(1) □2600×1400</p> $\begin{array}{ccccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{H鋼長(左岸)} & & \text{H鋼長(右岸)} & & & \\ 0.080 & \times ( 25.20 & + & 25.20 & ) = & 4.032 & \text{t} \end{array}$ <p>(2) □2600×1500</p> $\begin{array}{ccccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{H鋼長(左岸)} & & \text{H鋼長(右岸)} & & & \\ 0.080 & \times ( 30.50 & + & 32.40 & ) = & 5.032 & \text{t} \end{array}$ <p style="text-align: right;">腹起し合計 = 9.064 t</p> <p>【切梁@5m】</p> <p>仮設材種類 : H鋼200×200×8×12孔</p> <p>(3) □2600×1400</p> $\begin{array}{ccccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{H鋼長} & & \text{本数} & & \text{H鋼長} & \text{本数} \\ 0.055 & \times ( 2.760 & \times & 4 & + & 2.800 & \times & 1 \\ & & & \text{H鋼長} & & \text{本数} & & \\ & & & + & 2.880 & \times & 1 & ) = & 0.920 & \text{t} \end{array}$ <p>(4) □2600×1500</p> $\begin{array}{ccccccc} \text{単位重量(t/m)} & \text{H鋼長} & & \text{本数} & & \text{H鋼長} & \text{本数} \\ 0.055 & \times ( 3.62 & \times & 7 & + & 3.27 & \times & 1 & ) \\ & & & & & & & = & 1.574 & \text{t} \end{array}$ <p style="text-align: right;">切梁合計 = 2.493 t</p>	9.1
切梁・腹起し 設置撤去工	<p>(1)            (2)            (3)            (4)</p> $4.032 + 5.032 + 0.920 + 1.574 = 11.557 \text{ t}$	11.6

工 留 土 板 矢 横 杭 親



親杭横矢板土留工計算書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
H型鋼 (残置分)	鋼矢板欠損部(1)+(3)+(7) $1.50+1.50+1.50 = 4.50$		t	4.5
H型鋼 (撤去分)	鋼矢板欠損部(1)+(3)+(7) $0.10+0.10+0.10 = 0.30$		t	0.3
H鋼打込工 (油圧バイプロ) (Nmax≤50)	6m≤打込長≤9m 鋼矢板欠損部(1)+(3)+(7) $2+2+2 = 6$		本	6
ガス切断工 (撤去部切断)	鋼矢板欠損部(1)+(3)+(7) $2+2+2 = 6$		箇所	6
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.06m)	鋼矢板欠損部(1) $3.60 = 3.60$		m2	3.6
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.03m)	鋼矢板欠損部(3)+(4) $1.80+1.50 = 3.30$		m2	3.3
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.045m)	鋼矢板欠損部(2)+(5)+(7) $2.20+1.90+2.90 = 7.00$		m2	7.0

H 鋼 打 設 ・ 横 矢 板 設 置 計 算 書						1/3
鋼 矢 板 欠 損 部 (1) ～ (7)						
名称		計算式				数量
鋼矢板欠損部(1)(No.5+5.9付近)【左岸】						
仮設材 (中古品)		仮設材種類：【H鋼300×300】 H鋼長 = 8.5 m    うち、    H鋼撤去長 = 0.5 m				
残置部重量		単位重量(t/m)	H鋼残置長	枚数		
		0.093 ×	8.0 ×	2 =	1.49 t	1.5
撤去部重量		単位重量(t/m)	H鋼撤去長	枚数		
		0.093 ×	0.5 ×	2 =	0.09 t	0.1
H鋼打込工 (Nmax≦50)		施工方法：【油圧式可変超高周波型バイプロハンマ】    親杭				
					2 本	2
打込長 (6m≦h≦9m)		H鋼長		布堀深		
		8.5		- 1.60 =	6.9 m	
ガス切断工 (撤去部切断)		枚数				
		2 =				2.00 箇所
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.06m)		長さ	高さ	枚数		
		1.92 ×	0.21 ×	9 =	3.63 m2	3.6
		面積		厚さ		
		3.63 ×		0.06 =	0.22 m3	
鋼矢板欠損部(2)(No.5+9.6付近)【右岸】						
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.045m)		長さ	高さ	枚数		
		1.29 ×	0.21 ×	7 =	1.90 m2	1.9
		面積		厚さ		
		1.90 ×		0.045 =	0.09 m3	



# H 鋼 打 設 ・ 横 矢 板 設 置 計 算 書

2/3

## 鋼 矢 板 欠 損 部 (1) ～ (7)

名称	計算式	数量
鋼矢板欠損部(3)(No.5+11.0付近)【左岸】		
仮設材 (中古品)	仮設材種類 : 【H鋼300×300】 H鋼長 = 8.5 m うち、 H鋼撤去長 = 0.5 m	
残置部重量	単位重量(t/m) H鋼残置長 枚数 0.093 × 8.0 × 2 = 1.49 t	1.5
撤去部重量	単位重量(t/m) H鋼撤去長 枚数 0.093 × 0.5 × 2 = 0.09 t	0.1
H鋼打込工 (Nmax≤50)	施工方法 : 【油圧式可変超高周波型バイプロハンマ】 親杭 2 本	2
打込長 (6m≤h≤9m)	H鋼長 布堀深 8.5 - 1.60 = 6.9 m	
ガス切断工 (撤去部切断)	枚数 2 = 2 箇所	2
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.03m)	長さ 高さ 枚数 0.88 × 0.21 × 10 = 1.85 m2 面積 厚さ 1.85 × 0.03 = 0.06 m3	1.8
鋼矢板欠損部(4)(No.5+11.3付近)【右岸】		
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.03m)	長さ 高さ 枚数 0.88 × 0.21 × 8 = 1.48 m2 面積 厚さ 1.48 × 0.030 = 0.04 m3	1.5

H 鋼 打 設 ・ 横 矢 板 設 置 計 算 書

3/3

鋼 矢 板 欠 損 部 (1) ～ (7)

名称	計算式	数量
鋼矢板欠損部(5)(No.5+15.0付近)【右岸】		
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.045m)	$\begin{array}{l} \text{長さ} \quad \quad \quad \text{高さ} \quad \quad \quad \text{枚数} \\ 1.29 \times \quad 0.21 \times \quad 8 = \quad 2.17 \text{ m}^2 \\ \text{面積} \quad \quad \quad \text{厚さ} \\ 2.17 \times \quad 0.045 = \quad 0.10 \text{ m}^3 \end{array}$	2.2
鋼矢板欠損部(7)(No.7+6.5付近)【左岸】		
仮設材 (中古品)	仮設材種類：【H鋼300×300】 $\text{H鋼長} = 8.5 \text{ m} \quad \text{うち、} \quad \text{H鋼撤去長} = 0.5 \text{ m}$	
残置部重量	$\begin{array}{l} \text{単位重量(t/m)} \quad \text{H鋼残置長} \quad \quad \text{枚数} \\ 0.093 \times \quad 8.0 \times \quad 2 = \quad 1.49 \text{ t} \end{array}$	1.5
撤去部重量	$\begin{array}{l} \text{単位重量(t/m)} \quad \text{H鋼撤去長} \quad \quad \text{枚数} \\ 0.093 \times \quad 0.5 \times \quad 2 = \quad 0.09 \text{ t} \end{array}$	0.1
H鋼打込工 (Nmax≤50)	施工方法：【油圧式可変超高周波型バイプロハンマ】 $\text{親杭} \quad 2 \text{ 本}$	2
打込長 (6m≤h≤9m)	$\begin{array}{l} \text{H鋼長} \quad \quad \quad \text{布堀深} \\ 8.5 \quad - \quad 0.50 = \quad 8.0 \text{ m} \end{array}$	
ガス切断工 (撤去部切断)	$\text{枚数} \quad 2 = \quad 2 \text{ 箇所}$	2
横矢板設置撤去工 (木矢板、t=0.03m)	$\begin{array}{l} \text{長さ} \quad \quad \quad \text{高さ} \quad \quad \quad \text{枚数} \\ 1.39 \times \quad 0.21 \times \quad 10 = \quad 2.92 \text{ m}^2 \\ \text{面積} \quad \quad \quad \text{厚さ} \\ 2.92 \times \quad 0.045 = \quad 0.13 \text{ m}^3 \end{array}$	2.9

# 薬液注入工



薬液注入工計算書
----------

## 二重管ストレーナ複相式(鋼矢板欠損部)

[illegible]

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (1) 計 算 書

1/2

施工位置 鋼矢板欠損部(1) 測点 No.5+5.9 付近

## 1.薬液注入量の算定

$$\text{薬液注入面積 } A = 5.100 \times 1.500 = 7.650 \text{ m}^2$$

$$\text{対象土量 } V = 7.650 \times 2.055 = 15.721 \text{ m}^3$$

土質	N値	間隙率 (%)	充填率 (%)	注入高 (m)	瞬結材		緩結材	
		ρ	α	ℓ	注入比率	薬液量(V)	注入比率	薬液量(V)
					m	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot m / (m+n)$	n	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot n / (m+n)$
粘性土	0~4	70	40	1.255	1	2.688		
	4~8	60	40		1		1	
砂質土	0~10	45	90	0.800	1	0.991	1.5	1.487
	10~30	45	90		1		2.5	
	30以上	35	90		1		3.5	
礫質土	0~50	40	90		1		0.5	
	50以上	35	90		1		1.5	
小計						3.679		1.487
合計				2.055		5.166		

注入比率は、「下水道用設計標準歩掛表 別冊参考資料」の標準比率を採用する。

注入高は、地質調査報告書の設計平均N値を採用する。

$$\text{1本当りの薬液注入面積 } A' = 1.000 \text{ m}^2$$

注入面積は、打設間隔1.0mとし、 $1.000\text{m} \times 1.000\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

$$\text{薬液注入本数 } N = A \div A' = 7.650 \div 1.000 = 8 \text{ 本 (切上)}$$

$$\text{1本当りの薬液注入量 } Q_s = V \div N = 15.721 \div 8 = 1.965 \text{ m}^3 = 646 \ell$$

## 2.1本当りの施工時間

$$\text{1本当り施工時間 } T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 72.4 \text{ 分}$$

$$\text{機械準備時間 } T_1 = 14.0 \text{ 分}$$

機械移動・機械据付および注入後の器具洗浄時間

$$\text{削孔時間 } T_2 = 15.02 \div 1 = 15.02 \text{ 分}$$

$$\text{(鉛直注入)} \quad \Sigma[(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$$

土質	削孔長 L	削孔単位時間 $\gamma_i$	角度による補正 $\beta$	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土	2.755	4.0	1.00	11.02
砂質土	0.800	5.0	1.00	4.00
砂礫土		8.0		
合計	3.555			15.02

削孔角度による補正係数(β)は、「薬液注入工積算資料:日本グラウト協会」P.13参照

$$\text{注入時間 } T_3 = Q_s \div q = 1.965 \div 16 = 40.4 \text{ 分}$$

単位時間当り注入量:複相方式 $q = 16 \ell/\text{min}$

$$\text{土被り引抜時間 } T_4 = (3.555 - 2.055) \times 2 = 3.0 \text{ 分}$$

土被り長(m)=削孔長の合計(L)-注入高(ℓ) 土被り引抜時間 2 分/m

## 3.1日当り施工本数

$$\text{1日当りの施工本数 } N_p = T_h \div T_s \times N_n = 10.4 \text{ 本}$$

$$\text{日当り作業時間 } T_h = 6.3 \text{ 時間} = 378.0 \text{ 分}$$

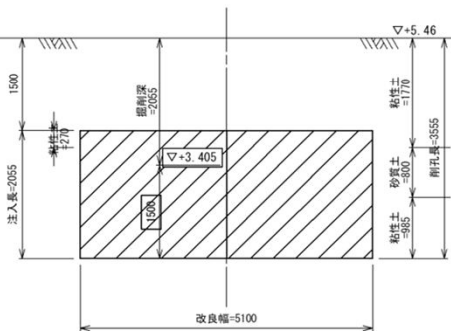
$$\text{1本当り施工時間 } T_s = 72.4 \text{ 分}$$

$$\text{注入台数 } N_n = 2.0 \text{ 台}$$

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (1) 計 算 書

2/2

参考図(土質データ)

B-1-4-2																		
孔口標高+5.19m					地下水位GL-1.90m					鋼矢板欠損部 (1)					No. 5+ 5.9付近			
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質	N 値	略 図					設計 N 値	$\gamma$ (kN/m3)	$\gamma'$ (kN/m3)	$\phi$ (度)	C (kN/m2)	E o (kN/m2)			
																		
4.64	0.55	0.55	埋 土															
3.69	0.95	1.50	砂 質 シルト	1.5						1.5	14	5	0	9	4200	A c		
3.29	0.40	1.90	質 砂 シルト	1.7						1.7	17	8	19.5	0	4760	A s		
2.89	0.40	2.30	混り砂礫	1.7														
1.54	1.35	3.65	腐植土	1						1.0	14	5	0	6	2800	A p		
0.69	0.85	4.50	礫 シルト 混り砂	8						8.0	17	8	32.7	0	22400	D s		
-0.36	1.05	5.55	砂 質 シルト	8														
-1.06	0.70	6.25	シルト	18						8.0	16	7	0	48	22400	D c		
				11														
-3.51	2.45	8.70	シルト 混り砂	27														
-3.91	0.40	9.10	砂 礫	22														
-4.16	0.25	9.35	シルト	10														
-5.11	0.95	10.30	シルト 混り砂	8														
-5.81	0.70	11.00	砂	8						17.6	18	9	35.4	0	49280	D s		
-6.31	0.50	11.50	シルト	8														
-7.11	0.80	12.30	粘 土	6.5						6.5	16	7	0	39	18200	D c		
-7.26	0.15	12.45	砂質粘土															

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (3) 計 算 書

1/2

施工位置 鋼矢板欠損部(3) 測点 No.5+11.0 付近

## 1.薬液注入量の算定

$$\begin{aligned} \text{薬液注入面積} \quad A &= 3.750 \times 1.500 = 5.625 \text{ m}^2 \\ \text{対象土量} \quad V &= 5.625 \times 2.162 = 12.161 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

土質	N値	間隙率 (%)	充填率 (%)	注入高 (m)	瞬結材		緩結材	
					注入比率	薬液量(V)	注入比率	薬液量(V)
		$\rho$	$\alpha$	$\ell$	m	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot m / (m+n)$	n	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot n / (m+n)$
粘性土	0~4	70	40	1.362	1	2.145		
	4~8	60	40		1		1	
砂質土	0~10	45	90	0.800	1	0.729	1.5	1.094
	10~30	45	90		1		2.5	
	30以上	35	90		1		3.5	
礫質土	0~50	40	90		1		0.5	
	50以上	35	90		1		1.5	
小計						2.874		1.094
合計				2.162		3.968		

注入比率は、「下水道用設計標準歩掛表 別冊参考資料」の標準比率を採用する。

注入高は、地質調査報告書の設計平均N値を採用する。

$$1 \text{ 本当りの薬液注入面積} \quad A' = 1.000 \text{ m}^2$$

注入面積は、打設間隔1.0mとし、 $1.000\text{m} \times 1.000\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

$$\text{薬液注入本数} \quad N = A \div A' = 5.625 \div 1.000 = 6 \text{ 本 (切上)}$$

$$\begin{aligned} 1 \text{ 本当りの薬液注入量} \quad Q_s &= V \div N = 3.968 \div 6 = 0.661 \text{ m}^3 \\ &= 661 \text{ } \ell \end{aligned}$$

## 2.1本当りの施工時間

$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 73.8 \text{ 分}$$

$$\text{機械準備時間} \quad T_1 = 14.0 \text{ 分}$$

機械移動・機械据付および注入後の器具洗浄時間

$$\text{削孔時間} \quad T_2 = 15.45 \div 15.5 \text{ 分}$$

$$(\text{鉛直注入}) \quad \Sigma[(\text{各土質毎の削孔長} L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間} \gamma_i]$$

土質	削孔長 L	削孔単位時間 $\gamma_i$	角度による補正 $\beta$	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土	2.862	4.0	1.00	11.45
砂質土	0.800	5.0	1.00	4.00
砂礫土		8.0		
合計	3.662			15.45

削孔角度による補正係数( $\beta$ )は、「薬液注入工積算資料:日本グラウト協会」P.13参照

$$\text{注入時間} \quad T_3 = Q_s \div q = 661 \div 16 = 41.3 \text{ 分}$$

単位時間当り注入量:複相方式 $q = 16 \text{ } \ell/\text{min}$

$$\text{土被り引抜時間} \quad T_4 = (3.662 - 2.162) \times 2 = 3.0 \text{ 分}$$

土被り長(m)=削孔長の合計(L)-注入高( $\ell$ ) 土被り引抜時間 2 分/m

## 3.1日当り施工本数

$$1 \text{ 日当りの施工本数} \quad N_p = T_h \div T_s \times N_n = 10.2 \text{ 本}$$

$$\text{日当り作業時間} \quad T_h = 6.3 \text{ 時間} = 378.0 \text{ 分}$$

$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = 73.8 \text{ 分}$$

$$\text{注入台数} \quad N_n = 2.0 \text{ 台}$$



# 鋼 矢 板 欠 損 部 (3) 計 算 書

2/2

参考図(土質データ)

B-1-4-2					鋼矢板欠損部 (3)							No. 5+ 11.0付近				
孔口標高+5.19m					地下水位GL-1.90m											
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質	N 値	略 図					設計 N 値	$\gamma$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\phi$ (度)	C (kN/m <sup>2</sup> )	E <sub>o</sub> (kN/m <sup>2</sup> )	
4.64	0.55	0.55	埋 土													
3.69	0.95	1.50	砂 質 シルト	1.5						1.5	14	5	0	9	4200	A <sub>c</sub>
3.29	0.40	1.90	シルト 質 砂	1.7						1.7	17	8	19.5	0	4760	A <sub>s</sub>
2.89	0.40	2.30	シルト 混り砂	1.7												
1.54	1.35	3.65	腐植土	1.0						1.0	14	5	0	6	2800	A <sub>p</sub>
0.69	0.85	4.50	砂 シルト 混り砂	8.0						8.0	17	8	32.7	0	22400	D <sub>s</sub>
-0.36	1.05	5.55	砂 質 シルト	8.0												
-1.06	0.70	6.25	シルト	18						8.0	16	7	0	48	22400	D <sub>c</sub>
-3.51	2.45	8.70	シルト 混り砂	11												
-3.91	0.40	9.10	砂 礫	27												
-4.16	0.25	9.35	シルト	22												
-5.11	0.95	10.30	シルト 混り砂	10												
-5.81	0.70	11.00	砂	8						17.6	18	9	35.4	0	49280	D <sub>s</sub>
-6.31	0.50	11.50	シルト	8												
-7.11	0.80	12.30	粘 土	6.5						6.5	16	7	0	39	18200	D <sub>c</sub>
-7.26	0.15	12.45	砂質粘土													

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (6) 計 算 書

1/2

施工位置 鋼矢板欠損部(6) 測点 No.5+16.3 付近

## 1.薬液注入量の算定

$$\begin{aligned} \text{薬液注入面積} \quad A &= 1.700 \times 1.500 = 2.550 \text{ m}^2 \\ \text{対象土量} \quad V &= 2.550 \times 2.308 = 5.885 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

土質	N値	間隙率 (%)	充填率 (%)	注入高 (m)	瞬結材		緩結材	
					注入比率	薬液量(V)	注入比率	薬液量(V)
		$\rho$	$\alpha$	$\ell$	m	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot m / (m+n)$	n	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot n / (m+n)$
粘性土	0~4	70	40	1.508	1	1.077		
	4~8	60	40		1		1	
砂質土	0~10	45	90	0.800	1	0.330	1.5	0.496
	10~30	45	90		1		2.5	
	30以上	35	90		1		3.5	
礫質土	0~50	40	90		1		0.5	
	50以上	35	90		1		1.5	
小計						1.407		0.496
合計				2.308		1.903		

注入比率は、「下水道用設計標準歩掛表 別冊参考資料」の標準比率を採用する。

注入高は、地質調査報告書の設計平均N値を採用する。

$$1 \text{ 本当りの薬液注入面積} \quad A' = 1.000 \text{ m}^2$$

注入面積は、打設間隔1.0mとし、 $1.000\text{m} \times 1.000\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

$$\text{薬液注入本数} \quad N = A \div A' = 2.550 \div 1.000 = 3 \text{ 本 (切上)}$$

$$\begin{aligned} 1 \text{ 本当りの薬液注入量} \quad Q_s &= V \div N = 1.903 \div 3 = 0.634 \text{ m}^3 \\ &= 634 \ell \end{aligned}$$

## 2.1本当りの施工時間

$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 72.6 \text{ 分}$$

$$\text{機械準備時間} \quad T_1 = 14.0 \text{ 分}$$

機械移動・機械据付および注入後の器具洗浄時間

$$\text{削孔時間} \quad T_2 = 16.03 \div 16.03 = 16.0 \text{ 分}$$

$$(\text{鉛直注入}) \quad \Sigma[(\text{各土質毎の削孔長} L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間} \gamma_i]$$

土質	削孔長 L	削孔単位時間 $\gamma_i$	角度による補正 $\beta$	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土	3.008	4.0	1.00	12.03
砂質土	0.800	5.0	1.00	4.00
砂礫土		8.0		
合計	3.808			16.03

削孔角度による補正係数( $\beta$ )は、「薬液注入工積算資料:日本グラウト協会」P.13参照

$$\text{注入時間} \quad T_3 = Q_s \div q = 634 \div 16 = 39.6 \text{ 分}$$

単位時間当り注入量:複相方式 $q = 16 \text{ } \ell/\text{min}$

$$\text{土被り引抜時間} \quad T_4 = (3.808 - 2.308) \times 2 = 3.0 \text{ 分}$$

土被り長(m)=削孔長の合計(L)-注入高( $\ell$ ) 土被り引抜時間 2 分/m

## 3.1日当り施工本数

$$1 \text{ 日当りの施工本数} \quad N_p = T_h \div T_s \times N_n = 10.4 \text{ 本}$$

$$\text{日当り作業時間} \quad T_h = 6.3 \text{ 時間} = 378.0 \text{ 分}$$

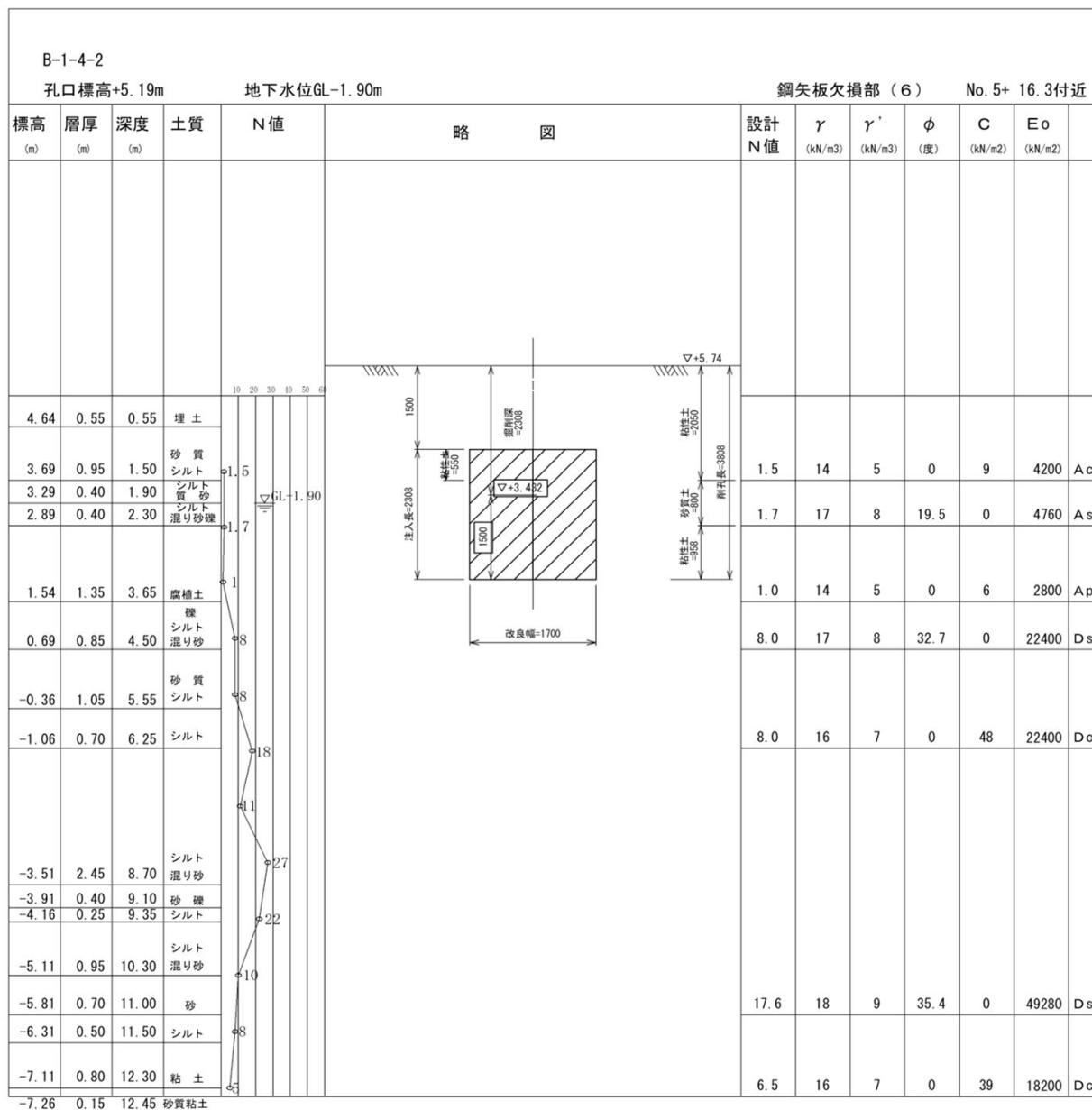
$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = 72.6 \text{ 分}$$

$$\text{注入台数} \quad N_n = 2.0 \text{ 台}$$

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (6) 計 算 書

2/2

参考図(土質データ)



# 鋼 矢 板 欠 損 部 (7) 計 算 書

1/2

施工位置 鋼矢板欠損部(7) 測点 No.7+6.5 付近

## 1.薬液注入量の算定

$$\begin{aligned} \text{薬液注入面積} \quad A &= 4.600 \times 1.500 = 6.900 \text{ m}^2 \\ \text{対象土量} \quad V &= 6.900 \times 2.174 = 15.001 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

土質	N値	間隙率 (%)	充填率 (%)	注入高 (m)	瞬結材		緩結材	
					注入比率	薬液量(V)	注入比率	薬液量(V)
		$\rho$	$\alpha$	$\ell$	m	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot m / (m+n)$	n	$A \cdot \rho \cdot \alpha \cdot \ell \cdot n / (m+n)$
粘性土	0~4	70	40	1.374	1	2.655		
	4~8	60	40		1		1	
砂質土	0~10	45	90	0.800	1	0.894	1.5	1.341
	10~30	45	90		1		2.5	
	30以上	35	90		1		3.5	
礫質土	0~50	40	90		1		0.5	
	50以上	35	90		1		1.5	
小計						3.549		1.341
合計				2.174		4.890		

注入比率は、「下水道用設計標準歩掛表 別冊参考資料」の標準比率を採用する。

注入高は、地質調査報告書の設計平均N値を採用する。

$$1 \text{ 本当りの薬液注入面積} \quad A' = 1.000 \text{ m}^2$$

注入面積は、打設間隔1.0mとし、 $1.000\text{m} \times 1.000\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

$$\text{薬液注入本数} \quad N = A \div A' = 6.900 \div 1.000 = 7 \text{ 本 (切上)}$$

$$\begin{aligned} 1 \text{ 本当りの薬液注入量} \quad Q_s &= V \div N = 4.890 \div 7 = 0.699 \text{ m}^3 \\ &= 699 \ell \end{aligned}$$

## 2.1本当りの施工時間

$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 76.2 \text{ 分}$$

$$\text{機械準備時間} \quad T_1 = 14.0 \text{ 分}$$

機械移動・機械据付および注入後の器具洗浄時間

$$\text{削孔時間} \quad T_2 = 15.50 \div 15.50 = 15.5 \text{ 分}$$

$$(\text{鉛直注入}) \quad \Sigma[(\text{各土質毎の削孔長} L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間} \gamma_i]$$

土質	削孔長 L	削孔単位時間 $\gamma_i$	角度による補正 $\beta$	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土	2.874	4.0	1.00	11.50
砂質土	0.800	5.0	1.00	4.00
砂礫土		8.0		
合計	3.674			15.50

削孔角度による補正係数( $\beta$ )は、「薬液注入工積算資料:日本グラウト協会」P.13参照

$$\text{注入時間} \quad T_3 = Q_s \div q = 699 \div 16 = 43.7 \text{ 分}$$

単位時間当り注入量:複相方式 $q = 16 \text{ } \ell/\text{min}$

$$\text{土被り引抜時間} \quad T_4 = (3.674 - 2.174) \times 2 = 3.0 \text{ 分}$$

土被り長(m)=削孔長の合計(L)-注入高( $\ell$ ) 土被り引抜時間 2 分/m

## 3.1日当り施工本数

$$1 \text{ 日当りの施工本数} \quad N_p = T_h \div T_s \times N_n = 9.9 \text{ 本}$$

$$\text{日当り作業時間} \quad T_h = 6.3 \text{ 時間} = 378.0 \text{ 分}$$

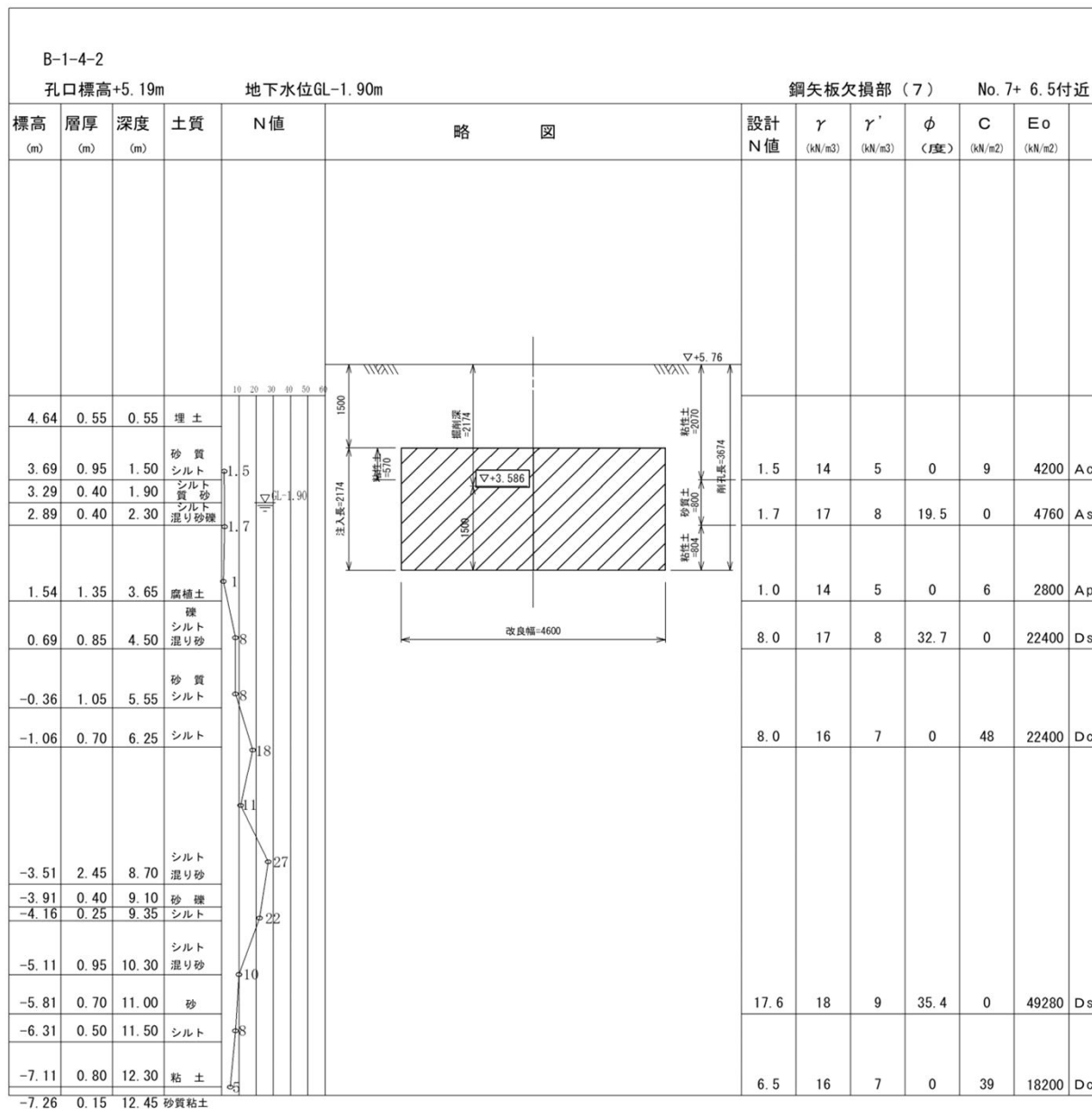
$$1 \text{ 本当り施工時間} \quad T_s = 76.2 \text{ 分}$$

$$\text{注入台数} \quad N_n = 2.0 \text{ 台}$$

# 鋼 矢 板 欠 損 部 (7) 計 算 書

2/2

参考図(土質データ)



# 深 層 混 合 处 理 工



深 層 混 合 処 理 工 計 算 書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
スラリー攪拌工 (3.0m<打設長≤10m) (単軸施工)	杭径φ1200mm スラリー攪拌工計算書①より	= 82	本	82
スラリー攪拌工 (3.0m<打設長≤10m) (単軸施工)	杭径φ1200mm スラリー攪拌工計算書②より	= 21	本	21
スラリー攪拌工 (3.0m<打設長≤10m) (単軸施工)	杭径φ1200mm スラリー攪拌工計算書③より	= 59	本	59
発生土運搬 (改良土)	盛上① 盛上② 盛上③ 107.42+29.61+81.42 +603.50-211.60 盛土分 流用分	= 610.35	m3	610.4
産業廃棄物処分 (改良土)	運搬と同じ	= 610.35	m3	610.4



□ 2600 × 1400 (基礎部)

-73-

□ 2300 × 1400 (基礎部)

-74-

□ 2600 × 1500 (基礎部)

-75-

工 渠 函



函 渠 工 計 算 書				1/2
名 称	計 算 式			単位 数 量
【布設工】				
ボックスカル パート工 (L1500標準)	□2600×1400	30.57 =	30.57	m 70.4
	□2300×1500	2.61+10.93 =	13.54	
	□2600×1500	15.74+10.50 =	26.24	
	合計 =		70.35	
【基礎工】				
敷モルタル (1:3)		幅 厚さ 延長		m3 4.1
	□2600×1400	2.96×0.02×30.57 =	1.81	
	□2300×1500	2.66×0.02×13.54 =	0.72	
	□2600×1500	2.96×0.02×26.24 =	1.55	
均しコンクリート (18-8-25BB)	合計 =		4.08	
	□2600×1400	矢板幅べた基礎(t=300mm)		m3 69.8
	□2300×1500	標準基礎(t=200mm)		
	□2600×1500	矢板幅べた基礎(t=300mm)		
	横断面計算書より =		69.80	
同上型枠		厚さ 面数 幅		m2 7.8
	□2600×1400	0.20×1.00×3.61 =	0.72	
	□2300×1500	0.20×2.00×13.54 =	5.42	
	□2600×1500	0.20×2.00×4.26 =	1.70	
【材料】	合計 =		7.84	
	【製品番号】57,58に管理孔として設置			
	マンホール蓋	T-14、φ600受枠、蓋	1 組	1
	施工用部材	M16用	1 組	1
	型枠セット	600用	1 箱	1
	無収縮性モルタル	12.5kg	1 袋	1
	調整金具	25mmまで	1 組	1
	調整リング	600×50	1 個	1

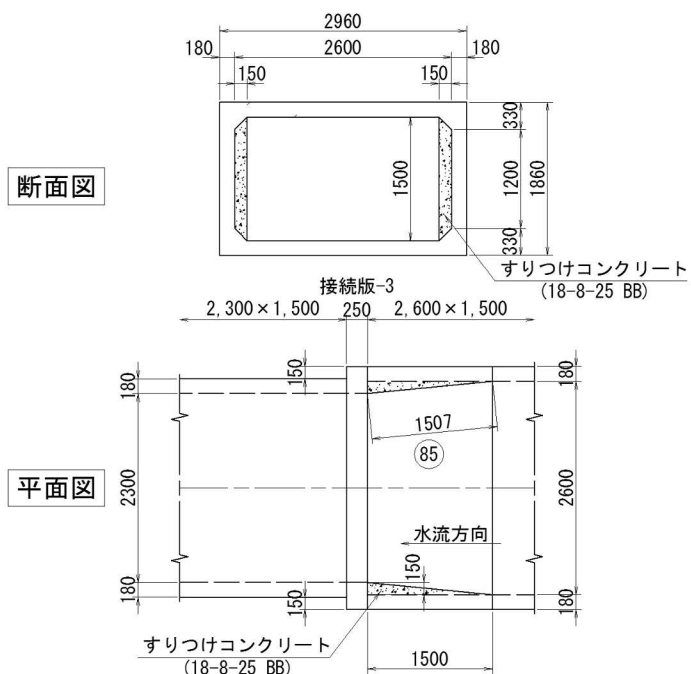
ボックスカルバート工計算書				2/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
【材料】 耐震性ボックス カルバート	□2600×1400			【製品番号】
	×1500 標準	14	本	
	×1500 上穴φ600/2(蓋設置)	2	本	57,58
	×900 短函	1	本	63
	×599/673 斜函	1	本	64
	×941/1015 斜函	1	本	65
	×1000 短函	1	本	66
	×1500 標準・横穴φ1000/2	1	本	72
	×1305 短函・横穴φ1000/2上流側連結金具	1	本	73
	□2300×1500			
	×1500 標準	3	本	
	×915/1303 斜函	1	本	74
	×1500 標準・横穴□400×400	1	本	75
	×1046/1396 斜函・横穴□300×300	1	本	79
	×963/1313 斜函	1	本	80
	×900 短函	1	本	81
	×963/1311 斜函	2	本	82,83
	×900 短函 上流側連結金具	1	本	84
	□2600×1500			
	×1500 標準	12	本	
	×1100 短函	1	本	91
	×900 短函	2	本	92,95
	×984/1110 斜函	1	本	93
	×975/1137 斜函	1	本	94
	×1500 標準・横穴□700/2×700	1	本	102
	×1500 標準・横穴□700/2×700、□500×600	1	本	103
接続版	2960×1860×250 標準	1	枚	接続版-2
接続版	2960×1944×250 標準	1	枚	接続版-3

横 断 面 計 算 書					
均 し コ ン ク リ ー ト					
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		1.04			(AIP.5)
	3.085		1.04	3.2	
ANo.4		1.04			
	14.951		1.04	15.5	
AIP.6		1.04			
	5.049		1.05	5.3	
ANo.5		1.06			
	7.234		1.07	7.7	
AIP.7		1.08			
	1.266		0.83	1.1	
ANo.5+8.5		0.57			(No.5+10.6)
	4.200		0.57	2.4	
ANo.5+12.7		0.57			
	1.900		0.57	1.1	
ANo.5+14.6		0.57			(No.5+14.9)
	1.100		0.57	0.6	
ANo.5+15.7		0.57			(No.5+14.9)
	0.117		0.57	0.1	
AIP.8		0.57			(AIP.9)
	3.175		0.57	1.8	
AIP.9		0.57			
	1.008		0.57	0.6	
ANo.6		0.57			
	13.308		0.93	12.4	
AIP.10		1.28			
	6.692		1.29	8.6	
ANo.7		1.30			
	7.264		1.30	9.4	
ANo.7+7.264		1.30			(AIP.11)
合 計				69.8	



# 断面変化部すりつけ工計算書

□ 2300 × 1500 - □ 2600 × 1500



名 称	計 算 式	単位	数 量
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(1.200 + 1.500) \times \frac{1}{2} \times 0.150 \times 1.500 \times 2 = 0.608$	m3	0.6
型枠工	$(1.200 + 1.500) \times \frac{1}{2} \times 1.507 \times 2 = 4.069$	m2	4.1

工 路 水 入 流

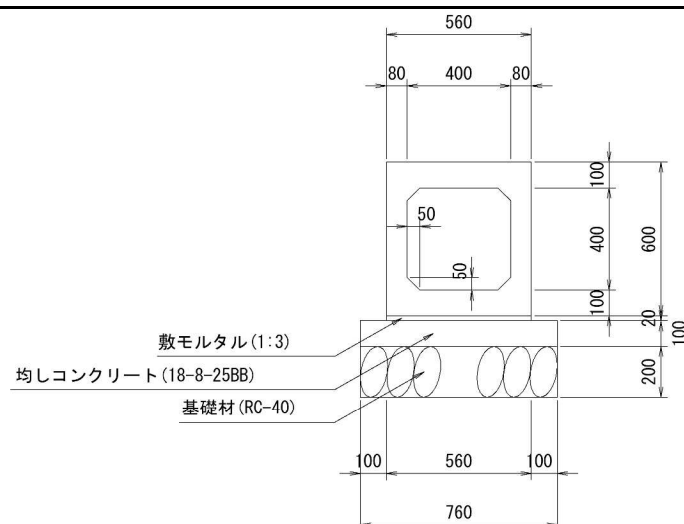


流入水路工計算書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
鉄筋コンクリート管設置工 (HPφ1000)	路線番号 B3 No.5+5.9付近 左岸側	= 0.70	m	0.7
ボックスカルバート工 (400×400)	路線番号 964 No.5+9.6付近 右岸側	= 1.10	m	1.1
ボックスカルバート工 (300×300)	路線番号 963 No.5+15.3付近 右岸側	= 0.60	m	0.6
ボックスカルバート工 (700×700)	路線番号 961-5 No.7+5.8付近 右岸側	= 1.20	m	1.2
ボックスカルバート工 (500×600)	路線番号 962 No.7+6.5付近 左岸側	= 0.70	m	0.7
コンクリート工 (18-8-25BB)	コンクリート工計算書より 0.304+0.088+0.078+0.131+0.113 =	0.713	m3	0.71
型枠工	2.143+0.760+0.668+1.055+0.961 =	5.590	m2	5.59
鉄筋工 (D13、L=100)	0.004+0.002+0.002+0.003+0.00 =	0.013	t	0.01

# ボックスカルバート工計算書①

(10m当り)

400 × 400 ( T - 25 )

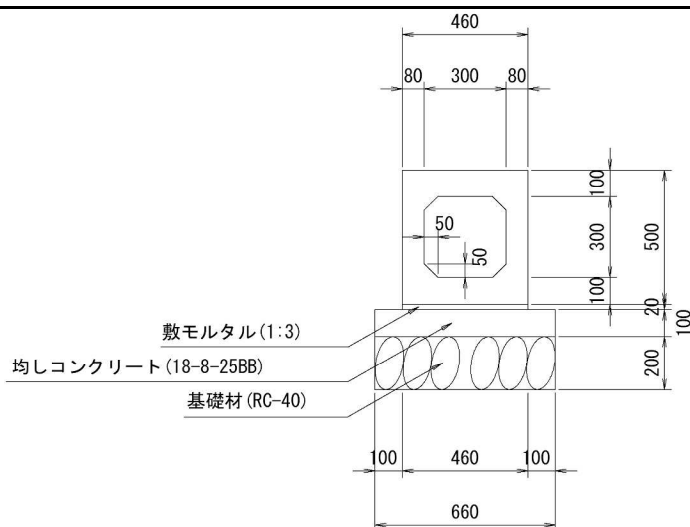


名 称	計 算 式	単位	数 量
ボックスカルバート工	$L=2000\text{mm}$	= 5.00 本	5.0
敷モルタル (1:3BB)	$0.56 \times 0.02 \times 10$	= 0.11 m3	0.1
均しコンクリート (18-8-25BB)	$0.76 \times 0.10 \times 10$	= 0.76 m3	0.8
同上型枠	$0.10 \times 10 \times 2$	= 2.00 m2	2.0
基礎材 (RC-40)	$0.76 \times 0.20 \times 10$	= 1.52 m3	1.5

# ボックスカルバート工計算書②

(10m当り)

300 × 300 ( T - 25 )

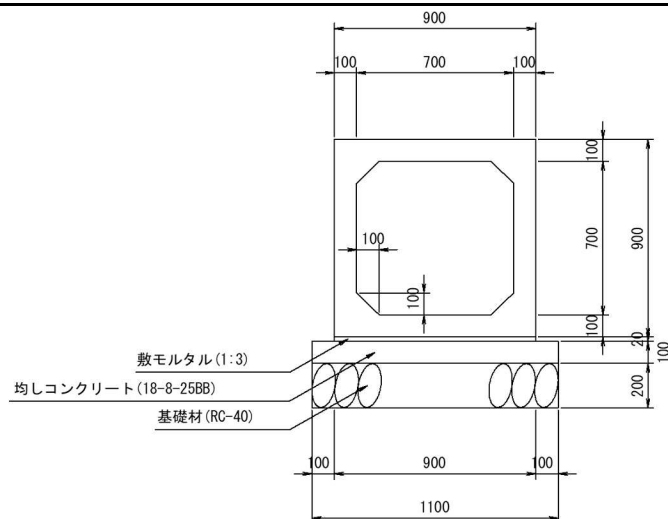


名 称	計 算 式	単位	数 量
ボックスカルバート工	$L=2000\text{mm}$	本	5.0
敷モルタル (1:3BB)	$0.46 \times 0.02 \times 10$	m3	0.1
均しコンクリート (18-8-25BB)	$0.66 \times 0.10 \times 10$	m3	0.7
同上型枠	$0.10 \times 10 \times 2$	m2	2.0
基礎材 (RC-40)	$0.66 \times 0.20 \times 10$	m3	1.3

# ボックスカルバート工計算書③

(10m当り)

700 × 700 ( T - 25 )

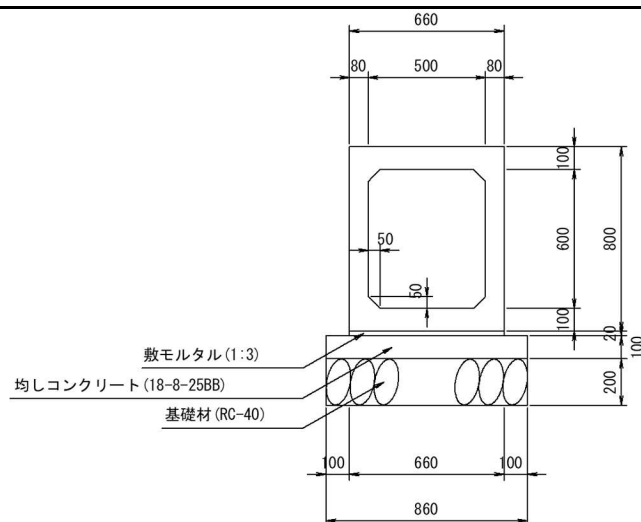


名 称	計 算 式	単位	数 量
ボックスカルバート工	L=2000mm = 5.00	本	5.0
敷モルタル (1:3BB)	0.90×0.02×10 = 0.18	m3	0.2
均しコンクリート (18-8-25BB)	1.10×0.10×10 = 1.10	m3	1.1
同上型枠	0.10×10×2 = 2.00	m2	2.0
基礎材 (RC-40)	1.10×0.20×10 = 2.20	m3	2.2

# ボックスカルバート工計算書④

(10m当り)

500 × 600 ( T - 25 )



名 称	計 算 式	単位	数 量
ボックスカルバート工	$L=2000\text{mm}$ = 5.00	本	5.0
敷モルタル (1:3BB)	$0.66 \times 0.02 \times 10$ = 0.13	m3	0.1
均しコンクリート (18-8-25BB)	$0.86 \times 0.10 \times 10$ = 0.86	m3	0.9
同上型枠	$0.10 \times 10 \times 2$ = 2.00	m2	2.0
基礎材 (RC-40)	$0.86 \times 0.20 \times 10$ = 1.72	m3	1.7



# コンクリート工計算書

1/2

## コンクリート工（流入水路取合部）

名称	計算式	数量
取合 - 1 (No.5+5.9付近 左岸側 鉄筋コンクリート管HPφ1000)		
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(1.684 \times 1.564 - 1.116) \times 0.200 = 0.304 \text{ m}^3$	0.30
型枠工	$(1.684 \times 1.564 - 1.116) + 0.200 \times 2 \times 1.564 = 2.143 \text{ m}^2$	2.14
鉄筋工 (D13、L=100)	$7 \times 2 + 5 = 19 \text{ 本}$ $4.212 \times 0.995 / 1,000 = 0.004 \text{ t}$	0.004
取合 - 2 (No.5+9.6付近 右岸側 ボックスカルバート400×400)		
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(0.970 \times 0.800 - 0.560 \times 0.600) \times 0.200 = 0.088 \text{ m}^3$	0.09
型枠工	$(0.970 \times 0.800 - 0.560 \times 0.600) + 0.200 \times 2 \times 0.800 = 0.760 \text{ m}^2$	0.76
鉄筋工 (D13、L=100)	$4 \times 2 + 2 = 10 \text{ 本}$ $1.950 \times 0.995 / 1,000 = 0.002 \text{ t}$	0.002
取合 - 3 (No.5+15.3付近 右岸側 ボックスカルバート300×300)		
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(0.884 \times 0.700 - 0.462 \times 0.500) \times 0.200 = 0.078 \text{ m}^3$	0.08
型枠工	$(0.884 \times 0.700 - 0.462 \times 0.500) + 0.200 \times 2 \times 0.700 = 0.668 \text{ m}^2$	0.67
鉄筋工 (D13、L=100)	$4 \times 2 + 2 = 10 \text{ 本}$ $1.662 \times 0.995 / 1,000 = 0.002 \text{ t}$	0.002

# コンクリート工計算書

2/2

## コンクリート工（流入水路取合部）

名称	計算式	数量
取合 - 4 (No.7+5.8付近 右岸側 ボックスカルバート700×700)		
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(1.340 \times 1.100 - 0.910 \times 0.900) \times 0.200 = 0.131 \text{ m}^3$	0.13
型枠工	$(1.340 \times 1.100 - 0.910 \times 0.900) + 0.200 \times 2 \times 1.000 = 1.055 \text{ m}^2$	1.06
鉄筋工 (D13、L=100)	$5 \times 2 + 4 = 14 \text{ 本}$ $2.910 \times 0.995 / 1,000 = 0.003 \text{ t}$	0.003
取合 - 5 (No.7+6.5付近 左岸側 ボックスカルバート500×600)		
コンクリート工 (18-8-25BB)	$(1.097 \times 1.000 - 0.667 \times 0.800) \times 0.200 = 0.113 \text{ m}^3$	0.11
型枠工	$(1.097 \times 1.000 - 0.667 \times 0.800) + 0.200 \times 2 \times 1.000 = 0.963 \text{ m}^2$	0.96
鉄筋工 (D13、L=100)	$5 \times 2 + 3 = 13 \text{ 本}$ $2.467 \times 0.995 / 1,000 = 0.002 \text{ t}$	0.002

工 増 打 壁 擁 設 既



既設擁壁打増し工計算書				
名 称	計 算 式	単位	数 量	
コンクリート工 (18-8-25BB)	断面積 延長 $0.23 \times 8.40$	= 1.93	m3	1.9
型枠工	高さ 延長 $1.30 \times 8.40$	= 10.92	m2	10.9
コンクリート削孔工	穿孔:電動ハンマドリル、ビット径:16mm t=10cm $33 \times 3$	= 99	孔	99
樹脂カプセル (D13異形鉄筋用)	削孔数	= 99	本	99
鉄筋工 (D13、SD345)	アンカー筋(D13,ctc250) 上段 L=290mm 延長 kg/m 本数 $0.29 \times 0.995 \times 33$ 中段 L=290mm $0.22 \times 0.995 \times 33$ 下段 L=290mm $0.15 \times 0.995 \times 33$ 鉄筋金網(D13-250×250) 幅 延長 kg/m <sup>2</sup> $0.60 \times 8.40 \times 7.960$ 合計 = 61.790  $61.790/1000$	= 9.522 = 7.224 = 4.925  = 40.118 = 61.790  = 0.062	kg kg kg  kg kg t	       0.06

# 工 壁 擁 式 力 重



重 力 式 擁 壁 工 計 算 書			
名 称	計 算 式	単位	数 量
小型擁壁工 (18-8-25BB)	No.5+6.71 ~ NO.5+10.08付近 L=3.70m 重力式擁壁工(1) 擁壁平均高さ 0.5m以上0.6m未満 = 0.590	m3	0.59
小型擁壁工 (18-8-25BB)	No.6+11.18 ~ NO.7+6.95付近 L=15.61m 重力式擁壁工(2) 擁壁平均高さ 0.5m以上0.6m未満 = 2.146	m3	2.15



# 重 力 式 擁 壁 工 (1) 計 算 書

## 現 場 打 ち ( 道 路 土 留 用 )

名称	計算式				数量
断面積	H=500	上底	下底	高さ	
	H=640				
コンクリート (18-8-25BB)					
同上型枠	前面				
	背面				
基礎材 (RC-40)	t=100				

# 重 力 式 擁 壁 工 (2) 計 算 書

## 現 場 打 ち ( 道 路 土 留 用 )

名称	計算式			数量
断面積	H=500	$\frac{\text{上底} + \text{下底}}{2} \times \text{高さ}$ $(0.200 + 0.350) / 2 \times 0.500$	= 0.138 m2	
コンクリート (18-8-25BB)		$\text{断面積} \times \text{延長}$ $0.138 \times 15.610$	= 2.146 m3	2.15
同上型枠	前面	$0.500 \times 15.610$	= 7.805 m2	
	背面	$0.520 \times 15.610$	= 8.117 m2	
	断面	$0.138 \times 2.000$	= 0.275 m2	
		合計	= 16.197 m2	
基礎材 (RC-40)	t=100	$0.400 \times 15.610 \times 0.100$	= 0.624 m3	
目地工 (エラストイト)	t=10	$\frac{\text{断面積}}{\text{箇所}}$ $\{(0.200 + 0.350) / 2 \times 0.500\} \times 2$	= 0.275 m2	

側 溝 工

側 溝 工 集 計 表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
構造物とりこわし工	無筋コンクリート	4	m3	
殻運搬・処分	無筋コンクリート	4	m3	
床掘	土砂	10	m3	
発生土運搬	現場～処分場	10	m3	
U型側溝工	CD側溝250×300	32	m	
蓋版設置工	コンクリート蓋	59	枚	B200×500
蓋版設置工	グレーチング蓋	3	枚	310×1000×90
U型側溝工	CD側溝300×400	14	m	
蓋版設置工	コンクリート蓋	23	枚	PC4 B250×500
蓋版設置工	グレーチング蓋	2	枚	360×1000×90
積込み	土砂	10	m3	
流用土運搬	仮置場～現場	10	m3	
流用土埋戻し		10	m3	

側 溝 工 計 算 書					1/2
名 称	計 算 式			単位	数 量
構造物とりこわし (無筋Co)	横断面計算書①より	=	4.20	m3	4.2
殻運搬・処分 (無筋Co)	構造物とりこわしと同じ	=	4.20	m3	4.2
床掘 (土砂)	横断面計算書②より	=	13.90	m3	13.9
発生土運搬 (現場～処理場)	床掘工と同じ	=	13.90	m3	13.9
U型側溝工 (250×300)	プレキャストU型側溝(1) No.5+14.44～No.7+7.264	=	32.40	m	32.4
蓋版設置工	コンクリート蓋(B200×500) (32.40－3.00)/0.50	=	59	枚	59
蓋版設置工	グレーチング蓋(310×1000×90(T-25))	=	3	枚	3
U型側溝工 (300×400)	プレキャストU型側溝(2) No.3+17.05～No.4+10.64	=	13.60	m	13.6
蓋版設置工	コンクリート蓋(PC4-B250×500) (13.60－2.00)/0.50	=	23	枚	23
蓋版設置工	グレーチング蓋(360×1000×90(T-25))	=	2	枚	2

側 溝 工 計 算 書				2/2
名 称	計 算 式			単位 数 量
積込み (仮置場内)	流用分 10.00	= 10.00	m3	10.0
流用土運搬 (仮置場～現場)	流用分 10.00	= 10.00	m3	10.0
流用土埋戻し	横断面計算書③より	= 10.00	m3	10.0

# 横断面計算書 ①

## 無筋コンクリート取壊し（既設側溝）

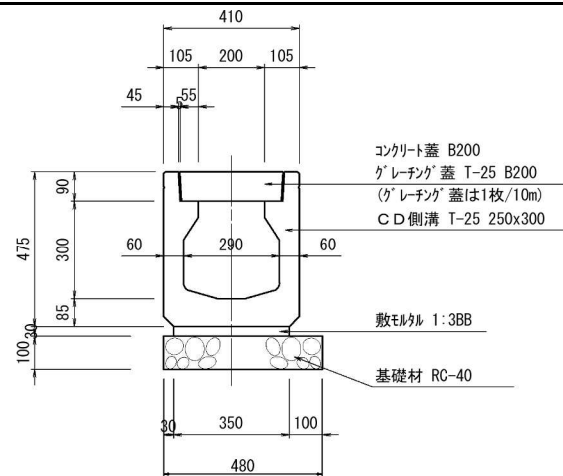
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915					
	3.085		0.04	0.1	
ANo.4		0.08			
	14.951		0.04	0.6	
AIP.6					
ANo.5					
AIP.7					
	7.666		0.06	0.5	
ANo.5+14.9		0.11			
	0.917		0.11	0.1	
AIP.8		0.11			
	4.183		0.10	0.4	
ANo.6		0.09			
	13.308		0.09	1.2	
AIP.10		0.08			
	6.692		0.09	0.6	
ANo.7		0.10			
	7.264		0.10	0.7	
ANo.7+7.264		0.10			(ANo.7)
合 計				4.2	

横 断 面 計 算 書 ②					
床 掘 ( 側 溝 工 )					
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915					
	3.085				
ANo.4		0.36			
	14.951		0.18	2.7	
AIP.6					
ANo.5					
AIP.7					
	7.666		0.18	1.4	
ANo.5+14.9		0.35			
	0.917		0.37	0.3	
AIP.8		0.38			
	4.183		0.35	1.5	
ANo.6		0.32			
	13.308		0.32	4.3	
AIP.10		0.32			
	6.692		0.29	1.9	
ANo.7		0.25			
	7.264		0.25	1.8	
ANo.7+7.264		0.25			(ANo.7)
合 計				13.9	



# U 型 側 溝 工 計 算 書 ①

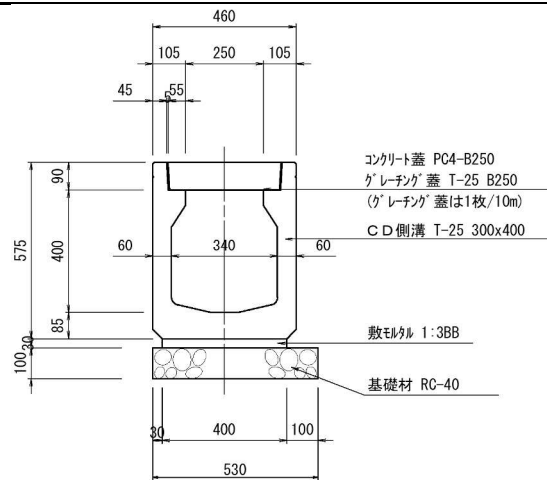
(10m当り)



名 称	計 算 式	単位	数 量
U型側溝	CD側溝250×300×2000 = 5.00	本	5.0
基礎材 (RC-40)	0.48×0.10×10.0 = 0.48	m3	0.5
敷モルタル (1:3BB)	0.35×0.03×10.0 = 0.11	m3	0.1

# U 型 側 溝 工 計 算 書 ②

(10m当り)



名 称	計 算 式	単位	数 量
U型側溝	CD側溝300×400×2000 = 5.00	本	5.0
基礎材 (RC-40)	0.53×0.10×10.0 = 0.53	m3	0.5
敷モルタル (1:3BB)	0.40×0.03×10.0 = 0.12	m3	0.1

# 横断面計算書③

## 流用土埋戻し（側溝工）

測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915					
	3.085				
ANo.4		0.26			
	14.951		0.13	1.9	
AIP.6					
ANo.5					
AIP.7					
	7.666		0.12	0.9	
ANo.5+14.9		0.23			
	0.917		0.24	0.2	
AIP.8		0.24			
	4.183		0.23	1.0	
ANo.6		0.22			
	13.308		0.22	2.9	
AIP.10		0.22			
	6.692		0.22	1.5	
ANo.7		0.22			
	7.264		0.22	1.6	
ANo.7+7.264		0.22			(ANo.7)
合 計				10.0	

縁 石 工

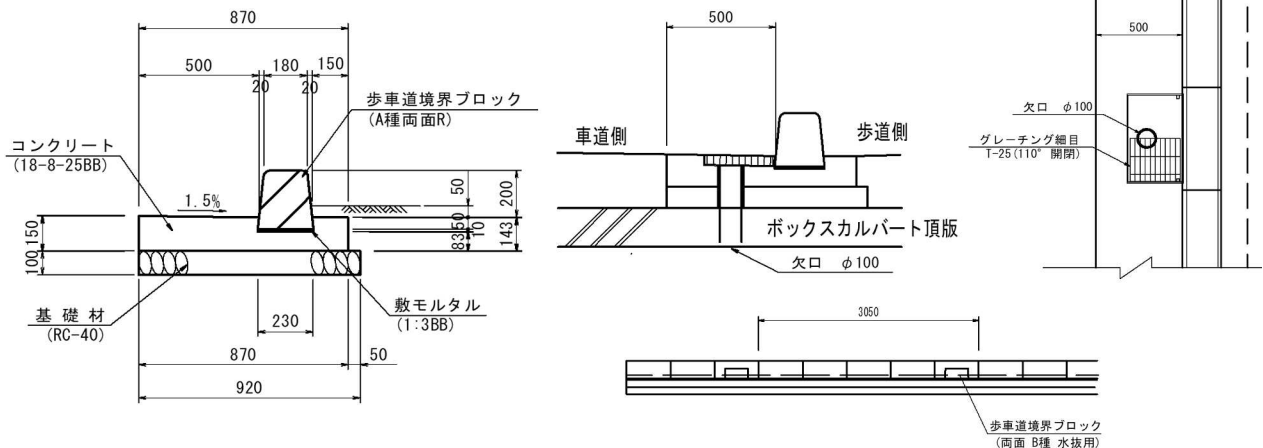
縁 石 工 集 計 表 (1.0式当り)				
名 称	規 格	数 量	単位	摘 要
歩車道境界ブロック工	標準	12	m	(1)
歩車道境界ブロック工	標準、基礎碎石無	28	m	(1S)
歩車道境界ブロック工	水抜き部	9	m	(1)(1S)
歩車道境界ブロック工	斜乗入部	2	m	(2)
歩車道境界ブロック工	乗入用	18	m	(3)
コンクリート工	18-8-25BB	7	m3	
型枠工		19	m2	
コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機、φ100	14	孔	
グレーチング蓋	T-25 細目 110開閉 228×380×44	14	個	

縁 石 工 集 計 表				1/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
歩車道境界ブロック工 (A種両面R)	縁石工(1)			
	No.5+0.00~No.5+7.63	=	7.60	
	No.5+19.80~No.6+2.620	=	2.80	
	No.6+12.82~No.6+16.70	=	3.90	
	(7.60+2.80+3.90)-2.62	=	11.68	m 11.7
歩車道境界ブロック工 (A種両面R)	縁石工(1S)は基礎施工無し			
	No.3+16.91~No.5+0.00	=	23.10	
	No.6+16.70~No.7+7.264	=	10.80	
	(23.10+10.80)-6.20	=	27.70	m 27.7
歩車道境界ブロック工 (B種両面R水抜き用)	縁石工(1)			
	$0.61 \times \{(3/10) \times 14.30\}$	=	2.62	
	縁石工(1S)			
	$0.61 \times \{(3/10) \times 33.90\}$	=	6.20	
	合計	=	8.82	m 8.8
歩車道境界ブロック工 (A種両面R切下用)	縁石工(2)			
	No.5+7.63~No.5+8.26	=	0.60	
	No.5+19.20~No.5+19.80	=	0.60	
	No.6+2.62~No.6+3.22	=	0.60	
	No.6+12.22~No.6+12.82	=	0.60	
	合計	=	2.40	m 2.4
歩車道境界ブロック工 (MSブロック)	縁石工(3)			
	No.5+8.263~No.5+10.29	=	3.50	
	No.5+14.90~No.5+19.20	=	5.50	
	No.6+3.22~No.6+12.22	=	9.00	
	合計	=	18.00	m 18.0

縁 石 工 集 計 表				2/2
名 称	計 算 式	単位	数 量	
コンクリート工 (18-8-25BB)	縁石(1) $\{(0.150+0.143)/2 \times 0.500 + 0.143$ $\times 0.370 - 0.230 \times 0.060\} \times 14.3 = 1.61$	m3		
	縁石(1S) $\{(0.150+0.143)/2 \times 0.500 + 0.143$ $\times 0.370 - 0.230 \times 0.060\} \times 33.9 = 3.81$	m3		
	縁石(2) $\{(0.150+0.143)/2 \times 0.500 + 0.143$ $\times 0.370 - 0.230 \times 0.060\} \times 2.4 = 0.27$	m3		
	縁石(3) $\{(0.150+0.143)/2 \times 0.500$ $+ 0.083 \times 0.230\} \times 18.0 = 1.66$	m3		
	合計 = 7.35	m3		7.4
同上型枠	$(0.150+0.143) \times 14.3 = 4.19$	m2		
	$(0.150+0.143) \times 33.9 = 9.93$	m2		
	$(0.150+0.143) \times 2.4 = 0.70$	m2		
	$(0.150+0.083) \times 18.0 = 4.19$	m2		
	合計 = 19.02	m2		19.0
コンクリート削孔工 (欠口φ100)	穿孔:コンクリート穿孔機、ビット径:100mm t=20cm B種両面R水抜き用設置数(3個/10m) (1) + (1S) $(3/10) \times (14.30 + 33.90) = 14$	孔		14
グレーチング蓋	T-25 細目 110開閉 228×380×44 = 14	個		14

(10m当り)

## 縁 石 工 (1)(1S)



名 称	計 算 式	単位	数 量
歩車道境界ブロック (A種両面R)	1.00/0.61	個/m	1.6
敷モルタル (1:3BB)	0.23×0.01×10 = 0.02	m3	0.02
基礎材 (RC-40)	0.92×0.10×10 = 0.92 ※(1S)は基礎材無し	m3	0.92



(10m当り)

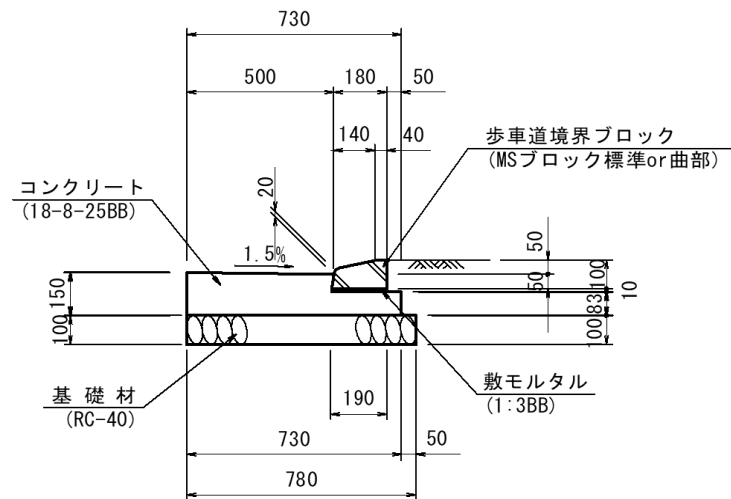
This technical drawing shows a cross-section of a concrete curb. The main body is made of concrete (コンクリート) with reinforcement bars (18-8-25BB). It sits on a base material (基礎材 RC-40). A sloped top surface has a 1.5% gradient. On top of the curb is a sidewalk boundary block (歩車道境界ブロック, Type A with R-cut bottom) set in bedding mortar (敷モルタル, 1:3BB). Dimensions include a total width of 920mm at the base, a curb height of 143mm, and various offsets and radii.

名 称	計 算 式	単位	数 量
歩車道境界ブロック (A種両面R切下用)	1.00/0.61	個/m	1.6
敷モルタル (1:3BB)	0.23×0.01×10 = 0.02	m3	0.02
基礎材 (RC-40)	0.92×0.10×10 = 0.92	m3	0.92

# 路 側 工 計 算 書 ③

(10m当り)

## 縁 石 工 (3) 乗 入 部



名 称	計 算 式				単位	数 量		
歩車道境界ブロック (MSブロック)	1.00/0.61				1.64	個/m	1.6	
敷モルタル (1:3BB)	0.21×0.01×10				=	0.02	m3	0.02
基礎材 (RC-40)	0.78×0.10×10				=	0.78	m3	0.78
							</	

道 路 土 工



道 路 土 工 計 算 書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
掘削 (土砂)	横断面計算書①より	= 66.60	m3	66.6
発生土運搬 (現場～処理場)	路床盛土分 66.60－0.80	= 65.80	m3	65.8
路床盛土 (掘削土砂)	横断面計算書②より	= 0.80	m3	0.8

横 断 面 計 算 書 ①					
掘 削 ( 路 床 ・ 路 盤 工 用 )					
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915		0.69			(AIP.5)
	3.085		0.74	2.3	
ANo.4		0.79			
	14.951		0.80	12.0	
AIP.6		0.81			
	5.049		0.90	4.5	
ANo.5		0.98			
	7.234		1.03	7.5	
AIP.7		1.07			
	7.666		1.39	10.7	
ANo.5+14.9		1.70			
	0.910		1.43	1.3	
AIP.8		1.16			
	4.183		1.02	4.3	
ANo.6		0.87			
	13.308		0.98	13.0	
AIP.10		1.08			
	6.692		0.89	6.0	
ANo.7		0.69			
	7.264		0.69	5.0	
ANo.7+7.264		0.69			(ANo.7)
合 計				66.6	

横 断 面 計 算 書 ②					
路 床 盛 土					
測 点	距 離	面 積	平均面積	立 積	摘 要
	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	
ANo.3+16.915					
ANo.4					
AIP.6					
ANo.5					
	7.234		0.05	0.4	
AIP.7		0.09			
	7.666		0.05	0.4	
ANo.5+14.9					
AIP.8					
ANo.6					
AIP.10					
ANo.7					
ANo.7+7.264					
合 計				0.8	

工 盤 路





路 盤 工 計 算 書			
名 称	計 算 式	単位	数 量
下層路盤 (t=10cm)	(A1) (A2) (A3)		
	歩道舗装 83.2+16.8+28.2 = 128.20	m2	
	乗入舗装 = 20.00	m2	
	合計 = 148.20	m2	148.2
不陸整正	歩道・乗入舗装 = 148.20	m2	148.2
下層路盤 (t=12cm)	車道仮舗装 = 149.80	m2	
	車道インターロッキング舗装 = 18.20	m2	
	= 168.00	m2	168.0

工 旧 復 装 舖



舗装復旧工計算書				
名 称	計 算 式	単位	数 量	
舗装版破碎 (t≤15cm)	布堀 (仮舗装) 33.67 = 33.67	m2	33.7	
殻運搬 (As)	(厚さ) (面積) 布堀 (t=5cm) 0.05×33.67 = 1.68	m3	1.7	
殻処分 (As)	殻運搬と同じ = 1.68	m3	1.7	
表層工 (t=3cm、PK)	(A1) (A2) (A3) 歩道舗装 83.2+16.8+28.2 = 128.20	m2	128.2	
表層工 (t=5cm、PK)	乗入舗装 = 20.00	m2		
	車道仮舗装 = 149.80	m2		
	合計 = 169.80	m2	169.8	
インターロッキング ブロック工	車道インターロッキング舗装 = 18.20	m2	18.2	

水 替 工



水 替 工 計 算 書				
名 称	計 算 式			単位 数 量
水替工 (常時排水)	水替供用日数	=	145	日 145
ポンプ設置撤去		=	1.00	箇所 1.0
仮設管設置工	仮設管設置工計算書より	=	1.00	式 1.0
仮設管撤去工	仮設管撤去工計算書より	=	1.00	式 1.0



水 替 工 計 算 書		
水 替 工 ( 常 時 排 水 )		
名称	計算式	数量
排水ポンプ (常時排水)	排水量120以上450未満(m <sup>3</sup> /h)、全揚程10m	
	普通型(潜水ポンプ)	
	口径200mm 全揚程15m以下	2 台
	普通型(潜水ポンプ)	
	口径150mm 全揚程15m以下	1 台

# 仮設管設置工計算書

## 高密度ポリエチレン管 (φ 800)

名称	計算式	数量
舗装版切断 (t≤15cm)	掘削幅 延長 両側 $(1.24 + 75.00) \times 2.0$ = 152.48 m	152.0
舗装版破碎 (t≤15cm)	掘削幅 延長 $1.24 \times 75.00$ = 93.00 m <sup>2</sup>	93.0
殻運搬 (As)	面積 舗装厚 $93.00 \times 0.05$ = 4.65 m <sup>3</sup>	5.0
殻処分 (As)	殻運搬と同じ = 4.65 m <sup>3</sup>	5.0
掘削 (土砂)	深さ As厚さ 幅 延長 $(1.24 - 0.05) \times 1.24 \times 75.0$ = 110.48 m <sup>3</sup>	110.0
発生土運搬 (現場～仮置場)	掘削量 流用分 $110.48 - 58.66$ = 51.83 m <sup>3</sup>	52.0
管布設工 (φ800)	高密度ポリエチレン管φ800(無孔・ダブル) 75.00 = 75.00 m	75.0
埋戻し (掘削土砂)	掘削量 管断面積 延長 $110.48 - (0.69 \times 75.00)$ = 58.66 m <sup>3</sup>	59.0
表層工 (t=5cm)	掘削幅 延長 $1.24 \times 75.00$ = 93.00 m <sup>2</sup>	93.0

# 仮設管撤去工計算書

## 高密度ポリエチレン管 (φ 800)

名称	計算式	数量
舗装版破碎 (t≤15cm)	掘削幅 延長 $1.24 \times 75.00 = 93.00 \text{ m}^2$	93.0
殻運搬・処分 (As)	面積 舗装厚 $93.00 \times 0.05 = 4.65 \text{ m}^3$	5.0
掘削 (土砂)	深さ As厚さ 幅 延長 管分 $(1.14 - 0.05) \times 1.24 \times 75.0 - 51.83 = 49.36 \text{ m}^3$	49.0
管撤去工 (φ800)	高密度ポリエチレン管φ800(無孔・ダブル) $75.00 = 75.00 \text{ m}$	75.0
撤去管運搬・処分	外面積 内面積 延長 比重(t/m3) $\{(0.69 - 0.50) \times 75.00\} \times 0.35 = 4.94 \text{ t}$	5.0
積込・発生土運搬 (仮置場～現場)	未使用分 $51.83 = 51.83 \text{ m}^3$	52.0
埋戻し (掘削土砂)	深さ As厚さ 路盤厚 幅 延長 $(1.14 - 0.05 - 0.10) \times 1.24 \times 75.0 = 91.88 \text{ m}^3$	92.0
下層路盤 (t=10cm)	掘削幅 延長 $1.24 \times 75.00 = 93.00 \text{ m}^2$	93.0
表層工 (t=5cm)	掘削幅 延長 $1.24 \times 75.00 = 93.00 \text{ m}^2$	93.0

工 道 歩 設 仮

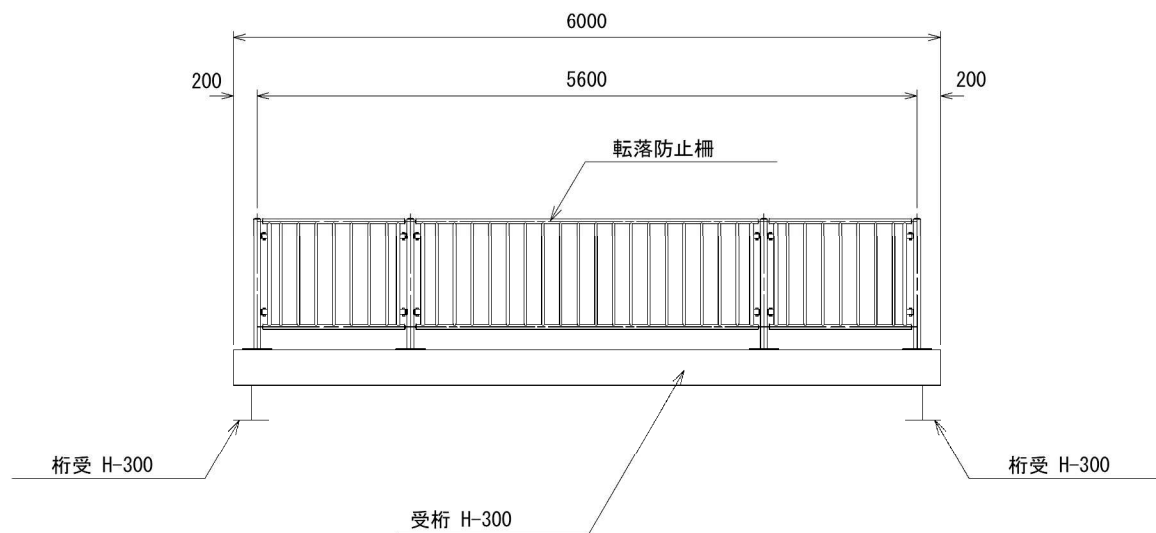


仮設歩道工計算書			
名 称	計 算 式	単位	数 量
覆工板・受桁 設置撤去工 (100m2以下)	幅 長さ 枚数 $1.00 \times 2.00 \times 6.00 = 12.00$	m2	12.00
覆工板開閉工	面積 回数 $12.00 \times 5.00 = 60.00$	m2・回	60.00
覆工板賃料	H1000×L2000×t200(0.2t/m2) 幅 長さ 単位重量 枚数 $1.00 \times 2.00 \times 0.20 \times 6.00 = 2.40$	t	
H鋼賃料	【受桁】H-300×300×10×15(0.1t/m) 長さ 単位重量 本数 $6.00 \times 0.10 \times 2.00 = 1.20$ 【桁受】H-300×300×10×15(0.1t/m) 長さ 単位重量 本数 $2.30 \times 0.10 \times 2.00 = 0.46$ 受桁 桁受 $1.20 + 0.46 = 1.66$	t	1.66
転落防止柵 設置・撤去工 (アンカーボルト固定)	延長 両側 $5.60 \times 2.00 = 11.20$	m	11.20

# 転落防止柵設置工

(10m当り)

## 転落防止柵



名 称	計 算 式	単位	数 量
転落防止柵	アンカーボルト固定 H=1100 = 10.00	m	10.0

す り つ け 工





すりつけ工計算書				
名 称	計 算 式		単位	数 量
【1工区 - 2工区接続部】				
掘削 (土砂)	$1 \div 2 \times (2.08 + 0.30) \times 2.51$	= 2.98	m3	3.0
発生土運搬 (現場～処分場)	掘削と同じ	= 2.98	m3	3.0
土のう撤去工	$12 \times 6$	= 72	袋	72
【2工区 - 3工区接続部】				
砕石埋戻し (RC-40)	$1 \div 2 \times (3.61 + 1.18) \times 3.80$	= 9.11	m3	9.1
土のう設置工 (小口並べ)	$13 \times 8$	= 104	袋	104